

商学部

外国語科目・総合教育セミナー履修案内
(英・独・仏・中・西語)

2025 年度



商 学 部

外国語科目履修案内

内容に変更が生じた場合は塾生サイトにてお知らせします。

目 次

外国語科目の履修にあたって	1
ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語 留年者および単位不足者の再履修について	3
「エントリー」について.....	5
クラス発表について	6
英語履修案内	7
ドイツ語履修案内	21
フランス語履修案内	25
中国語履修案内	33
スペイン語履修案内	35
総合教育セミナー履修案内	37

外国語科目の履修にあたって

商学部の外国語科目には、全員が履修しなければならない 1) 必修外国語科目 (16単位) と、2) 必修の外国語を所定の単位以上に集中的に学びたい人や必修以外の外国語を履修したい人のために、自主的に選択できる外国語科目とがあります。1) と 2) では、履修できる科目の種類と履修方法に違いがあるので、以下の諸注意を参考に履修申告の手続きをとってください。

※なお、2) の必修外国語をもっと集中的に学びたい場合、英語以外の言語ではインテンシブクラスに申し込みます。(詳しくは、次ページの 2 に加えて、各言語の履修案内ページを参照してください。)

1. 必修外国語科目について

商学部の必修外国語は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語の 5 言語から、2 言語を履修することになります。履修にあたっては第 1 学年と第 2 学年の各学年で、2 言語のそれぞれを週 2 回受講することが必要です。したがって、必修外国語だけで毎週 4 コマの講義を受講することになります (1 コマ=週 1 回90分授業)。

外国語科目の単位は、各学期 1 コマにつき 1 単位なので、春秋の学期それぞれで 4 コマずつ履修し合格すれば、**1 年間に合計 8 単位取得することになります。卒業に必要な必修外国語の単位数は16単位**なので、第 1 学年で 2 言語 8 単位、第 2 学年でも 2 言語 (**第 1 学年で選択したものと同一言語を履修しなければならない**) 8 単位を取得すれば、第 1・第 2 学年で合計16単位取得でき、卒業に必要な単位数を充足します。

必修外国語を受講するときのクラスには、クラスが予め指定されるもの (**指定クラス制**) と、クラスを選択できるもの (**選択必修クラス制**) があります。指定クラス制をとる科目と選択必修クラス制をとる科目の分類は次のようになります。

指定クラス制をとる科目

第 1 学年配当のすべての外国語科目、第 2 学年配当のドイツ語 IVa, IVb およびフランス語 IVa, IVb を除くすべての外国語科目。

※なお、インテンシブクラスの履修を希望する場合は、指定クラスが一般と異なりますので、所定の期間にオンラインのフォームから申し込む必要があります (詳細は各言語の説明を参照のこと)。

選択必修クラス制をとる科目

第 2 学年配当のドイツ語 IVa, IVb、フランス語 IVa, IVb。

選択必修クラス制をとる上記科目を履修するためには、必ず所定の期間に「Web エントリー」を行うことが必要です。エントリーがない場合は、これらの科目を履修できません。

なお、履修申告の方法は言語毎に異なりますので、各言語の履修案内を熟読して履修申告してください。

2. 必修以外の外国語科目について

自主強化科目としての外国語科目

総合教育科目の第Ⅳ類（自主強化科目）に指定演習科目として各言語毎に用意された科目があります。英語の場合はオプション科目として、テーマ別に少人数のクラスが用意されます（詳しくは7ページ以降の英語履修案内を参照）。英語以外の必修外国語科目の場合は、第1学年配当のドイツ語インテンシブⅢa, b、フランス語インテンシブⅢa, b、中国語インテンシブⅢa, b、スペイン語インテンシブⅢa, b、第2学年配当のドイツ語インテンシブⅥ-I, Ⅵ-II、フランス語インテンシブⅥ-I, Ⅵ-II、中国語インテンシブⅥ-I, Ⅵ-II、スペイン語インテンシブⅥ-I, Ⅵ-IIが指定演習科目となります（詳しくは、各初習言語の履修案内を参照）。

他学部設置の外国語科目および外国語教育研究センター設置の外国語科目

他学部設置の外国語科目のうち、その学部の必修科目でないものや、外国語教育研究センターに設置されている講座も、総合教育科目Ⅲ類として履修できます。

3. 必修外国語科目不合格者の再履修と、留年者の必修外国語履修について

1) 第1学年に留まった者

—英語の場合

P.11「(6) 1年の必修の英語科目を落とした場合」の「i. 原級（1年生）に留まった者」を参照してください。

—英語以外の語学の場合

P.3「ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語留年者および単位不足者の再履修について」の「1. 1年で原級に留まった者」を参照してください。

2) 第2学年に進級した者

各語学のⅠa, ⅠbおよびⅡa, Ⅱbの両方が不合格の者は、第1学年配当のその科目を再履修することが必要です。そのうえで、さらに第2学年配当の科目も履修してください。

—英語の場合

P.12「(6) 1年の必修の英語科目を落とした場合」の「ii. 第2学年に進級した者」を参照してください。

—英語以外の語学の場合

P.3「ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語留年者および単位不足者の再履修について」の「2. 2年に進級した者および2年で原級に留まった者」を参照してください。

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語 留年者および単位不足者の再履修について

留年者（＝原級に留まる者という）および単位不足者は、次の規定に従って再履修すること。
ただし、再履修クラスを履修することで、同一言語の必修外国語科目が週に4コマを超えてはいけない。

（注1：週1回・90分の授業を1コマという。）

（注2：ドイツ語・フランス語はⅠa, b・Ⅱa, b・Ⅲa, bが指定クラス、Ⅳa, bが選択必修クラス。中国語・スペイン語はすべてが指定クラス。）

1. 1年で原級に留まった者

1) Ⅰa, b・Ⅱa, bとも不合格の者

1年のⅠa, b・Ⅱa, b各1コマを指定クラスで再履修

2) Ⅰa, b・Ⅱa, bどちらかが不合格の者

Ⅴa, b（特修）1コマと2年生設置指定クラス1コマを履修

3) Ⅰa, b・Ⅱa, b両方合格の者

Ⅲa, bとⅣa, b各1コマを履修

2. 2年に進級した者および2年で原級に留まった者

1) Ⅰa, b・Ⅱa, bとも不合格の者

1年のⅠa, b・Ⅱa, b各1コマを指定クラスで再履修

*履修クラスは1年生の時間割で確認すること（原則として自分の所属クラス）

Ⅲa, b・Ⅳa, b各1コマを履修

2) Ⅰa, b・Ⅱa, bどちらかが不合格の者

Ⅴa, b（特修）1コマとⅢa, b・Ⅳa, b各1コマを履修

3) Ⅲa, b・Ⅳa, bとも不合格の者

Ⅲa, b・Ⅳa, b各1コマを再履修

4) Ⅲa, bが不合格の者

Ⅲa, b1コマを再履修

5) Ⅳa, bが不合格の者

Ⅳa, b1コマを再履修

*3)4)5)については、次ページの「5. 第2学年配当科目の再履修について」も参照のこと

3. 3年に進級した者

1) I a, b・II a, bとも不合格の者

1年のI a, b・II a, b各1コマを指定クラスで再履修

*履修クラスは1年生の時間割で確認すること（原則として自分の所属クラス）

2) I a, b・II a, bどちらかが不合格の者

V a, b（特修）1コマを履修

3) III a, b・IV a, bとも不合格の者

III a, b・IV a, b各1コマを再履修

*再履修者は2年生の時間割で確認すること（III a, bについては原則として自分の所属クラス）

4) III a, bが不合格の者

III a, b 1コマを再履修

*再履修者は2年生の時間割で確認すること（原則として自分の所属クラス）

5) IV a, bが不合格の者

IV a, b 1コマを再履修

6) 中国語X a, bが不合格の者

*[05学則適用者] 中国語III a, bを再履修

4. インテンシブクラス履修者

ドイツ語、中国語、スペイン語のインテンシブ科目の再履修の規定は次のとおり。フランス語インテンシブ科目が不合格となった場合は個別対応となるため、科目担当者に確認すること。

- ①インテンシブ科目のいずれかが不合格の場合、翌年度は一般クラスに編入する。
- ②インテンシブ科目のうち、必修科目（I a, b・II a, b・IV a, b・V a, b）が不合格の場合、一般クラスの再履修の規定に準じて履修する。
- ③インテンシブ科目のうち、自主強化科目（III a, b・VI-I, VI-II）が不合格の場合、再履修はなし。
- ④2年インテンシブ科目が春学期末の段階でいずれか1つでも不合格となった場合、同秋学期から一般クラスを履修する。自主強化科目（VI-II）は削除申告。

5. 第2学年配当科目の再履修について ※2018年度以前の入学者は対象外

春学期に第2学年配当科目（III a, IV a）の単位を取得できなかった者は、秋学期に開講される同科目III a, IV a（フォローアップクラス）を追加申告し、III b, IV bと並行して履修することができる。また、秋学期に第2学年配当科目（III b, IV b）の単位を取得できなかった者は、次年度春学期に開講される同科目III b, IV b（フォローアップクラス）を履修することができる。

*時間割の都合上、履修できない場合もあります。フォローアップクラスを履修することで、同一言語の必修外国語科目が週に4コマを超えてはいけません。

*時間割で自分の所属クラスを確認できない場合は、keio.jpもしくは学生部にて確認すること

注意！

上記各語学の選択必修クラスを履修する者は、期限内に必ずエントリーすること。履修クラス発表については、P. 6を参照のこと。

「エントリー」について

1. エントリー期間

1) Web エントリー

ドイツ語IVa, IVb 3月18日(火) 10:00~21日(金) 16:45まで

フランス語IVa, IVb 3月18日(火) 10:00~21日(金) 16:45まで

2) オンラインフォーム申込

英語(自主強化科目) 春学期 3月27日(木) 8:45~4月1日(火) 10:30まで

秋学期 9月16日(火) 8:45~9月19日(金) 10:30まで

ドイツ語インテンシブクラス^(※1) 4月1日(火) 11:30まで

フランス語インテンシブクラス^(※2) 4月1日(火) 11:30まで (11:30~面接D403)

中国語インテンシブクラス^(※1) 4月1日(火) 11:30まで (11:30~面接D404)

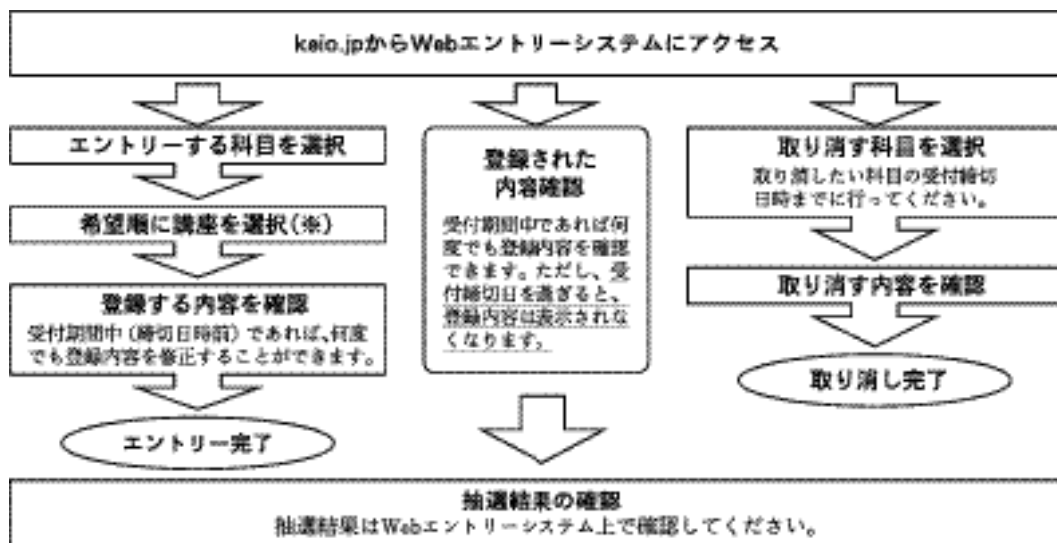
スペイン語インテンシブクラス 4月1日(火) 12:00まで (12:30~面接D406)

※1 新入生と、2年次からインテンシブクラスへの編入を希望する者。

※2 新入生のみ。

2. エントリー方法

1) Web エントリー



※希望順位について

ドイツ語IVa, b 第5希望まで選択 フランス語IVa, b 第5希望まで選択

2) オンラインフォーム申込

申込方法・期間について、各言語の履修案内ページを確認してください。

クラス発表について

1. クラス発表日時

- 3月27日(木) 午前 中国語Ⅳa, Ⅳb、スペイン語Ⅳa, Ⅳb
 3月27日(木) 午後 ドイツ語Ⅳa, Ⅳb、フランス語Ⅳa, Ⅳb
 4月3日(木) 午前 各インテンシブクラス
 4月3日(木) 正午 英語リーディングⅠa, Ⅰb、英語コミュニケーションⅠa, Ⅰb、
 英語リーディングⅡa, Ⅱb、英語コミュニケーションⅡa, Ⅱb、
 英語（自主強化科目：春学期）
 9月24日(水) 正午 英語（自主強化科目：秋学期）

2. クラス発表

keio.jp (<http://keio.jp/>)

Web エントリーシステム	News	登録済科目確認
中国語Ⅳa, Ⅳb スペイン語Ⅳa, Ⅳb ドイツ語Ⅳa, Ⅳb フランス語Ⅳa, Ⅳb	各インテンシブクラス 英語（自主強化科目）	英語リーディング 英語コミュニケーション

英語履修案内

商学部の英語教育

(1) 授業

商学部の英語科目は、効果的に学習できるよう、レベル別のクラス編成を行っているのが特徴です。商学部が学内で行う TOEIC の IP テスト*を全員が受験し、その結果を基に、レベル別に授業を履修することになります。また英語力を一層高めたい学生のために、多彩な英語科目を選択できるようにしているのが第2の特徴です。

第1学年から説明しましょう。英語履修チャート（P.12）に見られるように、英語は必修科目 H (Hisshu) と選択科目 S (Sentaku 自主強化科目など) の2種に大別されます。H（1学年4科目各1単位で合計4単位）は英語を選択した学生が必ず履修しなければならないもので、第1学年は、講読を中心とする「英語リーディングⅠa」（春学期）、「英語リーディングⅠb」（秋学期）（春秋セットで同じクラスを履修）と、表現力を中心とする「英語コミュニケーションⅠa」（春学期）、「英語コミュニケーションⅠb」（秋学期）（春秋セットで同じクラスを履修）からなっています。基礎、中級、準上級、上級が用意されています。

第1学年

英語リーディングⅠa（春学期）、英語リーディングⅠb（秋学期）

リーディングスキルの向上を主たる目的とする演習を行う。

長文読解、パラグラフリーディング、スピードリーディング、サマリー作成、語彙力の向上などを通して総合的な英語理解力を涵養する。

英語コミュニケーションⅠa（春学期）、英語コミュニケーションⅠb（秋学期）

コミュニケーションスキルの向上を主たる目的とする演習を行う。

会話、ディスカッション、プレゼンテーション、ライティング、リスニングなどを通じて、総合的な英語表現力を涵養する。

TOEIC の IP テスト（4月入学時実施）によって決定された自分のレベルのクラスが指定されます。

第2学年も同様に H に「英語リーディングⅡa」（春学期）、「英語リーディングⅡb」（秋学期）「英語コミュニケーションⅡa」（春学期）、「英語コミュニケーションⅡb」（秋学期）があります。TOEIC は入学時の4月のみ受験となり、2年生のレベルは1年生のレベルがそのまま持ち上がります。

*TOEIC（トイーック）とは Test of English for International Communication の略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。IP とは Institutional Program の略で、団体特別受験のことです。

第2学年

英語リーディングⅡa（春学期）、英語リーディングⅡb（秋学期）

英語リーディングⅠa，Ⅰbで培ったリーディングスキルをさらに向上させることを主な目的とする。

長文読解、パラグラフリーディング、スピードリーディング、サマリー作成、語彙力の向上などを通して総合的な英語理解力を涵養する。

英語コミュニケーションⅡa（春学期）、英語コミュニケーションⅡb（秋学期）

英語コミュニケーションⅠa，Ⅰbで培ったコミュニケーションスキルをさらに向上させることを主な目的とする。

ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション、ライティング、リスニングなどを通して総合的な英語表現力を涵養する。

意欲のある学生はさらに、1，2年共通のSを履修することによって学力を高めることができます。自主強化科目（総合教育科目Ⅳ類）には「英語ディスカッション」、「英語ディベート」、「英語アカデミックライティング」、「英語プレゼンテーション」、「英語リスニングセミナー」、「英語リーディングセミナー」（すべて半期2単位）が設置されています。さらに「総合教育セミナー」には英語で行われている授業もあります。また、外国語教育研究センターの様々な英語科目も総合教育科目Ⅲ類として履修することができます。このように、HとSをうまく組み合わせれば、英語をインテンシブに学習することができます。インテンシブに学習したことを認証する国際教養プログラム認定証を取得することもできます。国際教養プログラム修了を4年間を通しての目標としてチャレンジできます（詳しくは別冊の『国際教養プログラム・数理科学プログラム』パンフレットを参照してください）。

第3学年と第4学年には必修科目はありませんが、英語科目が設置されていて、4年間を通して英語の学習を継続して行うことができます。「外国語演習」（英語）にはプレゼンテーションやリーディング（すべて半期2単位）などの授業があります。また、「国際教養演習」にも英語で行われる授業があり、英語を使って研究・発表することによってさらに英語の運用能力を高めることもできます。三田の外国語教育研究センターでも多彩な英語科目（「商学関連科目」または「自由科目Ⅰ」として履修可能）が設置されています。

なお、英語を必修として履修していない学生が英語科目を履修する場合は、自主強化科目などの選択科目（S）のほかに、必修（H）として設置された科目も、担当者の許可があれば自由科目として履修することができます。

(2) 英語科目のレベルについて

必修英語は、入学時に行われる全員受験の TOEIC IP テストに基づいて、(基礎)、(中級)、(準上級)、(上級)に分けられます。

必修英語科目が未取得科目となって再履修する場合、上記決定のレベルで履修してください*。

TOEIC IP テストは必修英語履修者全員が受けなければなりません。この試験を受けなかった人には、様々な履修上の弊害が生じます。

(3) 成績評価について

必修科目(H)は春学期、秋学期をセットで履修しますが、成績は春、秋別々に1つずつつきます。成績は原則として試験と平常点によって決定されます。それぞれ各レベルのクラスごとに成績評価がなされます。成績表にはレベルが表記されます。

(4) 第1学年、第2学年必修英語の履修方法

- i. 英語リーディングⅠa, Ⅰb, 英語コミュニケーションⅠa, Ⅰb, 英語リーディングⅡa, Ⅱb, 英語コミュニケーションⅡa, Ⅱbは、すべて TOEIC IP 試験の結果により決定されたレベルに従ってクラスが指定されます。
- ii. 必修英語のクラス分けの結果は4月3日(木) 正午に発表します。テキストはこの発表を見て、第1回目の授業前に購入しておいてください。
- iii. 一度決定したクラスは変更することはできません。
- iv. Web 履修申告で、自分の履修するクラスを確認してください。
- v. 外国語教育研究センターの「英語最上級 アドバンスト英語(a)(b)」(日吉開講)をもって必修英語の単位を充当できる場合があります。充当されない科目もありますので注意してください。詳細は keio.jp 上で掲示されますので、参照してください。ただし、「アドバンスト英語」は定員超過などの理由で履修できない場合があります。その場合は、指定された商学部の英語クラスを Web 履修申告してください。「アドバンスト英語」の受講を許可され、商学部必修英語(上級クラス)の単位充当を申請する学生は、マークシートによる履修申告を、学生部で履修申告期間内に行ってください。

なお英語の必修科目は日吉のみに設置されています。必修科目未取得のまま3年に進級した場合には、当該科目を登録した時点におけるレベルのクラスが指定されます。必ず未取得科目すべての登録を行い履修しなければなりません。

*英語リーディングⅠa, Ⅰb(基礎), 英語コミュニケーションⅠa, Ⅰb(基礎)は2026年度より、英語リーディングⅡa, Ⅱb(基礎), 英語コミュニケーションⅡa, Ⅱb(基礎)は2027年度より廃止されます。再履修する年度に基礎クラスが設置されていない場合は、中級クラスで再履修することになります。

(5) 自主強化科目(1・2年共通)などの選択科目の履修方法および認定証の授与について

(2)－(4)で説明された必修科目(H)に加え、選択科目(S)を履修することができます。授業の内容についてはweb シラバス・時間割を参照してください。また、国際教養プログラム(英語圏)が設けられており、一定単位数の選択科目を履修した学生には認定証が授与され、英語学習に努力したことが認証されます。詳しくは、別冊の『国際教養プログラム・数理科学プログラム』パンフレットを参照してください。

- i. 自主強化科目(総合教育科目Ⅳ類)の履修希望者は、下記の期間に Google フォームからオンライン申請してください。

春学期「英語プレゼンテーション」「英語ディスカッション」、「英語リスニングセミナー」

3月27日(木) 8:45～4月1日(火) 10:30まで

<https://forms.gle/dBXq13RdOn77hfAe7>



秋学期「英語アカデミックライティング」「英語ディベート」「英語リーディングセミナー」

9月16日(火) 8:45～9月19日(金) 10:30まで

<https://forms.gle/OVxD26cyNEBn3e76>



(各学期とも一人1件しか申請できません。他の必修科目と曜日時限が重複していないか確認してから申請してください。当选した科目をやむを得ない事情で辞退する場合は、4月および9月の英語学習指導相談期間中に所定の手続きを行ってください。)

これらの科目は特にレベル指定はしていません。シラバスをよく読んで上で自分にふさわしい授業を履修してください。半期科目で、2単位ですので、積極的に英語を勉強する心構えが必要です。1クラス15名程度という定員がありますので、希望者が多い場合は履修できない場合もあります。クラス決定の結果発表を確認して初回授業に出席した後に、keio.jp上で履修が許可されているか確認してください。授業の開始日は必修英語と同じです。

- ii. 各クラスとも、クラス決定の結果は次の日時に発表します。

春学期4月3日(木) 正午

秋学期9月24日(水) 正午

- iii. 外国語教育研究センターで履修を許可されて「総合教育科目Ⅲ類」として単位を希望する人は、Webによる履修申告をしてください。なお外国語教育研究センターの科目をとる場合、商学部の必修英語科目のレベルは履修条件には関係ありませんので、どのレベルの人も自由に履修してください。ただし、外国語教育研究センターの最上級は帰国生程度のレベルですので注意が必要です。

3・4年で三田の外国語教育研究センターの科目をとる場合は「商学関連科目」または「自由科目Ⅰ」として履修することができます。

- iv. 国際センター設置科目を商学部の「総合教育科目Ⅲ類」の単位として取得したい場合は、Web による履修申告をしてください。

各研究科設置の科目（大学院生用）を除くすべての科目（国際センター講座：すべて英語で授業が行われています）が履修できます。2024年度現在は三田のみで開講されています。3・4年で履修する場合は「商学関連科目」としてとるか「自由科目Ⅰ」として取るか申告時に決めて履修することになります。その後の変更はできません。

(6) 1年の必修の英語科目を落とした場合

英語の半期履修については、手続き方法を確認のうえ、必ず所定の手続きを行ってください。

- i. 原級（1年生）に留まった者：落とした1年生の英語科目すべてと、希望する場合は、1科目（半期）でも履修終了のものがある場合は、その英語科目に対応する2年次の英語科目をセット履修できます。

1年次の半期だけ落とした英語科目は、その分だけを履修することになりますが、2年次のものを履修するときは春、秋学期セットで履修しなければなりません。

この場合、クラス分け発表には含まれないので、2年次科目の履修は別途申告が必要となります。英語学習指導相談期間中に、所定の手続きを行ってください。

例1：

原級（1年生）に留まった者で、「英語リーディングⅠa」,「英語リーディングⅠb」のうち「Ⅰa」または「Ⅰb」が合格している者：

履修すべき科目：「英語リーディングⅠa」,「英語リーディングⅠb」の落とした方の科目。

履修してもよいもの：2年次対象の「英語リーディングⅡa, Ⅱb」のセット履修。

2年次対象科目の履修を強制するものではなく、履修するか否かは学生が選択できます（要申告）。

例2：

原級（1年生）に留まった者で、「英語コミュニケーションⅠa」,「英語コミュニケーションⅠb」のうち「Ⅰa」または「Ⅰb」が合格している者：

履修すべき科目：「英語コミュニケーションⅠa」,「英語コミュニケーションⅠb」の落とした方の科目。

履修してもよいもの：2年次対象の「英語コミュニケーションⅡa, Ⅱb」のセット履修。

2年次対象科目の履修を強制するものではなく、履修するか否かは学生が選択できます（要申告）。

例 3：

原級（1年生）に留まった者で「英語リーディングⅠa」と「英語コミュニケーションⅠb」を落とした場合、それらの科目は必ず履修しなければなりません、2年次の「英語リーディングⅡa、Ⅱb」のセット履修、「英語コミュニケーションⅡa、Ⅱb」のセット履修は、本人の希望があれば履修可能で、履修しなくてもかまいません。

ii. 第2学年に進級した者：1年次配当の未取得英語科目すべてと、2年次配当の英語科目を履修してください。

iii. 原級（2年生）に留まった者：未取得英語科目をすべて履修してください。

英語履修チャート

必修科目 (H)								選択科目 (S) : 1 ・ 2 年生共通	
1 年次 英語	入学時 TOEIC IP 試験								* 自主強化科目 (英語リスニングセミナー、英語リーディングセミナー、英語ディスカッション、英語ディベート、英語プレゼンテーション、英語アカデミックライティング) * 英語で行われる総合教育セミナー * 外国語教育研究センターの指定科目 * その他
	リーディング・スコア				リスニング・スコア				
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
	リーディングⅠa, Ⅰb				コミュニケーションⅠa, Ⅰb				
	上 級	準上級	中 級	基 礎	上 級	準上級	中 級	基 礎	
2 年次 英語	入学時 TOEIC IP 試験								
	リーディング・スコア				リスニング・スコア				
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
	リーディングⅡa, Ⅱb				コミュニケーションⅡa, Ⅱb				
	上 級	準上級	中 級	基 礎	上 級	準上級	中 級	基 礎	
3 ・ 4 年次 英語	選択科目 (S) : 3 ・ 4 年生共通								
	* 「外国語演習」 * 英語で行われる「国際教養演習」 * 外国語教育研究センターの指定科目 * 国際センターの指定科目 * GPP 科目 * その他								

英語選択(自主強化科目)

担当者	春学期	秋学期	曜日時限
吉田 友子	英語プレゼンテーション	英語アカデミックライティング	水 2
コイデ テレサ	英語プレゼンテーション	英語アカデミックライティング	木 2
林 安希子	英語ディスカッション	英語ディベート	水 4
林 安希子	英語ディスカッション	英語ディベート	水 5
チェン アンドリュー	英語リスニングセミナー	英語リーディングセミナー	水 2
平山 仁美	英語リスニングセミナー	英語リーディングセミナー	月 3

※各科目の授業計画については Web 上の「シラバス・時間割」を参照してください。

英語プレゼンテーション 2単位 (春学期)

English Presentation

春学期：水2

吉田 友子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Being able to deliver an effective presentation is essential in today's world whether you choose to enter the field of business, education or politics upon graduation. A powerful presentation can help you acquire new clients, improve relationships, or persuade your audience. Fortunately, presentation skills are easy and fun to learn and the more you present the better you will be. In this class, the instructor will share some tips on how to give an effective presentation. Students will also have the opportunity to create and deliver four different presentations over the course of the semester. Students will also learn through giving and receiving feedback on each other's presentations.

成績評価方法：

25% - Attendance

25% - Participation

25% - Four In-class Presentations

25% - Final Exam

テキスト (教科書)：

Will be distributed via Google Classroom.

参考書：

Will be distributed via Google Classroom.

担当教員から履修者へのコメント：

All classes will be conducted in the classroom unless otherwise announced via Google Classroom and Canvas.

Delivering a presentation to an audience is a lot of fun once you get used to it. This class will provide you with numerous opportunities to create and deliver a presentation. There is no language requirement but I would like students who are willing to participate in class in English.

質問・相談：

Please feel free to ask me questions during or after class. You can also email me at: tomokoyoshida414@gmail.com

英語アカデミックライティング 2単位 (秋学期)

Academic Writing

秋学期：水2

吉田 友子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Effective writing skills are essential both in academia as well as in the business world. For academics, conducting impressive research is only the first step. Unless researchers can convey the relevance of their studies, they will not be published. Similarly, in the business world, creating an impressive product or business plan is only the first step. Unless business people can articulate their accomplishments, they will remain unrecognized.

Students studying abroad will quickly discover that writing skills are as important as presentation skills. Most classes at overseas universities will require weekly writing assignments in addition to lengthier research papers. For this reason, the TOEFL test includes a writing section.

In this class, students will practice writing different types of essays. Through editing each other's papers, students will learn how to edit their own. At the end of the semester, students will embark on writing a five-page research paper. Through these assignments, students will have an opportunity to build on all four skills: reading, writing, speaking, and listening comprehension.

成績評価方法：

Attendance & Participation: 25%

Homework: 25%

Final Paper: 25%

Final Exam: 25%

テキスト (教科書)：

Yoshida, T. (2015). Academic Writing Nyuumon [An introduction to academic writing]. Tokyo: Keio University Press.

参考書：

Will be provided as needed.

担当教員から履修者へのコメント：

Note: All classes will be taught in the classroom unless otherwise announced via Canvas and Google Classroom.

This should be an intense but fun class. Through completing many writing assignments, students should gain confidence about their writing skills upon completion of the class. If you are planning on studying abroad, this would be a good class to take..

質問・相談：

Please feel free to ask questions during or after class. You can also email me at: tomokoyoshida414@gmail.com

英語プレゼンテーション 2単位（春学期）

Presentations in English

春学期：木2

コイデ，テレサ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Being comfortable speaking in front of a group is an important life skill that will help you in your personal, academic, and work life. This course will allow you to practice various styles of presentations in small groups and in front of the entire class. You will learn how to plan a well-organized presentation that flows smoothly from section to section. Special attention will be paid to developing your own unique style related to tone, gestures, facial expressions, voice projection, and eye contact.

The class atmosphere is fun and relaxed. Students are encouraged to support one another by creating a positive and safe environment for everyone to thrive in.

成績評価方法：

Storytelling- 10%

Process Presentation-25%

Sales Pitch-25%

Informative Presentation-30%

Class participation, activities, and homework-10%

テキスト（教科書）：

No textbook is required. Handouts and PowerPoint Slides will be used.

参考書：

None

担当教員から履修者へのコメント：

All classes will be held in person at the university (face to face).

Please bring a notebook and file/folder for handouts to class.

Detailed written feedback will be given for each major presentation assignment.

Peer feedback is also incorporated into this course.

This course requires students to actively prepare at home for mini speaking assignments and 3 major presentation assignments.

質問・相談：

Please contact the instructor at teresakoides@gmail.com or on Canvas with questions or concerns.

英語アカデミックライティング 2単位（秋学期）

English Academic Writing

秋学期：木2

コイデ，テレサ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

One of the most important skills necessary for a successful academic career is the ability to write effectively. This course will give students the skills to confidently write various types of essays. Students will be encouraged to create outlines for their essays for homework, and class time will be set aside for the writing of the essays. This format will keep time spent on homework to a minimum. The following styles of essays will be covered: description, opinion, comparison, and problem/solution. Detailed feedback will be provided by the instructor on how to improve.

成績評価方法：

Essays-80% (Students will write 4 essays- the top 3 scores will be counted, meaning the lowest grade will be dropped)

Homework, class activities, and participation-20%

テキスト（教科書）：

No textbook is required. Handouts and PowerPoint will be used.

参考書：

Purdue Online Writing Lab

APA 7th edition- <https://apastyle.apa.org/>

担当教員から履修者へのコメント：

All sessions will be held in person on campus.

Please bring a notebook and a folder/file to class to keep handouts organized.

質問・相談：

Please contact the instructor at teresakoide@gmail.com or on Canvas if you have questions or concerns.

英語ディスカッション 2単位（春学期）

Humanities and Social Sciences Discussion in English

春学期：水4／水5

林 安希子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

This course aims to develop students' discussion skills. We will focus on the skills of interacting and responding to what others are saying, presenting different viewpoints, and listening.

Through various activities that we will do in this class, the goal of this class is not only developing discussion skills but also developing 1) the ability to understand phenomena and 2) critical and analytical thinking.

This course is designed for students to develop skills through collaborative, collective experience. I therefore expect and value participation in the class discussions and hands-on activities.

成績評価方法：

Class Participation 70%

Final Report 30%

テキスト（教科書）：

To be announced in the class

担当教員から履修者へのコメント：

Students are expected to read the assigned readings and be prepared for class discussion.

There are about 4-6 On-Demand classes. Details would be announced in the first class. First class will be in person class.

質問・相談：

Before / after class with an appointment, or by e-mail

英語ディベート 2単位（秋学期）

Humanities and Social Sciences Debate in English

秋学期：水4／水5

林 安希子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

This course aims to develop students' debating skills. We will focus on the skills of communication, defense, and rational argumentation. By the end of the semester students should be able to apply the skills covered to their own debate.

Through various activities that we do in this class, the goal of this class is not only developing debating skills but also developing 1) the ability to understand phenomena, 2) critical and analytical thinking, and 3) the ability to discuss.

This course is designed for students to develop skills through collaborative, collective experience. I therefore expect and value participation in the class discussions and hands-on activities.

成績評価方法：

Class Participation 70%

Final Report 30%

テキスト（教科書）：

To be announced in the class

担当教員から履修者へのコメント：

Students are expected to read the assigned readings and be prepared for class discussion.

There are about 4-6 On-Demand classes. Details would be announced in the first class. First class will be in person class.

質問・相談：

Before / after class with an appointment, or by e-mail

英語リスニングセミナー 2単位 (春学期)

Adolescence in America

春学期：水 2

チェン, アンドリュー E.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

The objective of this course is for students to practice and improve their English listening comprehension, discussion, and writing skills while learning about American culture and society. Students do so through watching TV shows and aim to reach a level of listening comprehension without relying on the use of subtitles by using context clues, predictive and anticipation skills.

The course work involves watching short 23 minute situation comedy episodes and subsequently discussing plot, characters, and situations. Students practice oral and written skills of summarizing episodes and paraphrasing parts of dialogues. Students practice writing opinions and commentaries of episodes watched, most of which are on the topic of adolescence and the coming of age.

Students prepare vocabulary in advance and will watch episode segments in class and check comprehension in pairs or small groups. The Instructor will explain aspects of American culture and the historical and cultural allusions in the episodes. Students discuss the episode and cultural issues in groups. Students review new vocabulary and write paragraphs of critical comments for submission in the next class.

Students will also watch three films based on Bildungsroman or coming of age novels with high school characters and settings in Gross Pointe, Michigan in the 1970's, Omaha, Nebraska in the 1980's, and Pittsburgh, Pennsylvania in the 1990's. Students choose their own TV dramas and introduce episode themes and criticism for projects.

成績評価方法：

*Vocabulary Quizzes (10%)

*Class participation (10%)

*Written assignments and opinions (30%)

*Midterm Presentation(25%)

*Independent Project (25%)

テキスト (教科書)：

Materials will be provided by the instructor.

参考書：

Edgerton, Gary. (2007). The Columbia History of American Television. Columbia University Press/ New York

France, Rennes. (2013). Six Decades of Social Class in American Sitcoms. www.academia.edu

Jordan, Amy. The Portrayal of Children on Prime-Time Situation Comedies. The Journal of Popular Culture. Volume 29, Issue 3, pages 139-147, Winter 1995

The Perks of Being a Wallflower by Stephen Chbosky

The Virgin Suicides by Jeffrey Eugenides

担当教員から履修者へのコメント：

Attendance is taken for every class. Two unexcused absences will affect course grade.

Students who miss more than three classes will not receive credit for the course.

No makeup assignments or reports will be accepted for unexcused absences.

Arriving twenty minutes after class has started counts as an absence.

Two times late equals one absence. This course will be conducted in English.

Weekly preparation for each class: two hours.

All videos and listening materials will be provided. Students may need to access streaming sites such as Netflix, Amazon Prime Video, YouTube, or Hulu for projects. Students will see 3 films and watch 18 TV drama episodes and videos to improve listening skills. Students' confidence in listening invariably improves by mere participation. Individual results may vary and are not guaranteed.

This class uses the Canvas LMS for announcements, assignments, class materials / files, quizzes and exams.

Communication with the instructor is also available via email and Canvas LMS.

Most class sessions are in person. Some class sessions are carried out asynchronously due to the instructor's unavailability.

The first class session will be in person. Please confirm each class through Canvas LMS.

質問・相談：

Contact Andrew Chen via andychen@keio.jp

英語リーディングセミナー 2単位（秋学期）

Reading, Reviewing, and Blogging

秋学期：水2

チェン, アンドリュー E.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

In this course, students will develop reading skills and increase comprehension while acquiring grammar and vocabulary. Students read the main ideas and thoughts pushed forth in various current non-fiction books and consume all the key points of an entire book in a fraction of the time it would take to read the original. The objectives are to develop understanding of the text, to read more widely, and to acquire vocabulary through reading the summaries of books.

成績評価方法：

Attendance will be taken for online classes: completed assignments count as present and incomplete assignments count as absent. Attendance will be taken for Face to Face classes: students will be counted present only if they are in attendance regardless of submission of assignments. Exceptions are made for excused absences.

Writing Assignments 50%

Presentation 25%

Course paper 25%

テキスト（教科書）：

Other reading supplementary materials will be distributed.

参考書：

Cohen, R. and Miller, J. (2016). Longman Academic Reading Series 4 1st ed. Pearson Japan. ISBN: 978-0134663364
Cowell, Karl. "Nine Benefits of Summarizing Books." 2 August 2019, <https://www.linkedin.com/pulse/nine-benefits-summarising-books-karl-cowell>

Dixit, Lait. "Explained: Pro & Cons of reading Book Summaries." 28 January 2022, <https://medium.com/uncomplicate/explained-pro-cons-of-reading-book-summaries-1d6bbf5569c6>

Nokia, Kevin. "Reading Summaries is not the Same as Reading Books." 12 March 2024, <https://medium.com/@kevinnokaiawriting/reading-summaries-is-not-the-same-as-reading-books-35fd8906a174>

担当教員から履修者へのコメント：

This class uses the Canvas LMS for announcements, assignments, class materials / files, quizzes and exams. Communication with the instructor is also available via email and Canvas LMS. Most class sessions are in person. Some class sessions are carried out asynchronously due to the instructor's unavailability.

The first class session will be in person. Please confirm each class through Canvas LMS.

質問・相談：

Contact Andrew Chen via andychen@keio.jp

英語リスニングセミナー 2単位（春学期）

Learning note-taking skills through lectures on life and culture in the United States

春学期：月3

平山 仁美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

In this class, students will enhance their listening skills through audiovisual materials in English and develop their notetaking skills. The topics discussed in the materials encompass life and culture in the United States, such as family, education, and politics. After taking this class, students are expected to be ready to take lectures in English based on their listening and notetaking skills.

成績評価方法：

Grades are based on weekly assignments, class participation, quizzes, and the final presentation. More than four absences will result in a failing grade.

テキスト（教科書）：

Lim, Phyllis L. and William Smalzer (2007) Dynamic Listening Comprehension 2 Noteworthy. Cengage Learning. ISBN: 978-4-902902-75-4

担当教員から履修者へのコメント：

Most of the lectures are held on campus. Online classes (up to 7 times) are held in an on-demand format. The

first class is face-to-face.

Feedback on assignments will be provided via K-LMS.

質問・相談：

Questions are always welcome. I will be available before and after the class. The instructor's contact information will be provided in the first class.

英語リーディングセミナー 2単位（秋学期）

Developing reading skills through readings on language and culture

秋学期：月3

平山 仁美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

In this class, students are expected to enhance their reading skills through reading articles on language and culture. The readings are taken from a wide range of materials, from introductory textbooks for undergrads to book chapters or academic articles for general or more advanced readers. The readings encompass topics such as the nature of language or the sociological aspect of languages, which will deepen (a small part of) knowledge about language-related topics worldwide.

成績評価方法：

Grades are based on weekly assignments, class participation, quizzes, and the final presentation. More than four absences will result in a failing grade.

テキスト（教科書）：

The instructor will provide the materials.

担当教員から履修者へのコメント：

Most of the lectures are held on campus. Online classes (up to 7 times) are held in an on-demand format. The first class is face-to-face.

質問・相談：

Questions are always welcome. I will be available before and after the class. The instructor's contact information will be provided in the first class.

ドイツ語履修案内

第1学年

必修 [ドイツ語Ⅰa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb]

初めてドイツ語を学ぶ学生を対象としたクラスで、初級文法を1年間かけて学びます。目標は辞書を使ってある程度内容のあるドイツ語の文章を読めること、簡単な作文や基礎的な日常会話ができること。同一日本人教員による週2回の授業を、半期ずつ1年間セット履修します [クラス指定]。

全員がゼロからスタートするため、授業に毎回出席することが重要です。

成績評価は平常点に試験の成績を加味して決定されます。通常試験は小テストも含め、授業中に適宜行われます。担当者によって差異はありますが、学習進度に合わせて年間4～5回の定期試験があります。さらに年度末（秋学期末）の定期試験期間中には、1年生全クラス共通の一斉試験を実施します。

※1年生の必修クラスおよびインテンシブクラスの履修者は、教科書にくわえて、以下の単語帳を使用して継続的に語彙や基本表現の反復練習を行います。購入方法や使用法は、授業担当者の案内にしたがってください。

北川千香子・西尾宇広『使えるドイツ語単語帳 シチュエーション別・文法項目別』（朝日出版社、2024年）

インテンシブクラス [ドイツ語インテンシブⅠa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb・Ⅲa, Ⅲb]

（必修4単位、自主強化2単位）

インテンシブクラスは、ドイツ語を真剣に学びたいという学生のために設置されています。少人数で、実践的かつ総合的なドイツ語能力を習得することを目標とします。ドイツ語圏（ドイツ・オーストリア・スイスなど）の文化や社会、またドイツ系企業に興味のある学生、ドイツ語で将来コミュニケーションを図りたい学生はぜひ受講してください。

授業は、日本人教員とドイツ語を母語とする教員のふたりによる連携で、週3回（日本人2回・ネイティブ1回）、半期ずつ1年間セット履修します。1年次は通常クラスと同様、同一の日本人教員が週2コマを担当します。週3回とも一般の指定必修クラスとは別のクラスになります。履修申告は必修科目2コマ（インテンシブⅠa, Ⅰb, Ⅱa, Ⅱb）、自主強化科目1コマ（インテンシブⅢa, Ⅲb）の組み合わせとなりますが、どちらかだけの履修は認められません。なお本クラスは2年生に持ち上がります（途中でのクラス変更は基本的に認められていません）。

少人数クラスでの実施を前提としているため、希望者が多い場合は選考を行います。詳しくは、学部ガイダンス（ドイツ語）の時の説明をよく聞いてください。

参加希望者は、Webを通して申告を行ってください。申込方法および申込締切日は「1年学科目ガイダンス：ドイツ語」資料に記載します。

既習者の履修

なお、塾内進学者をはじめ国内外の高校等でドイツ語を学んだことのある学生は、相談のうえ履修するクラスを決定します。

第2学年

必修

第2学年では次のふたつのクラスで計4単位を履修することになります。

(1) ドイツ語Ⅲa, Ⅲb (1年次の指定クラスと同じ)

日本人教員による授業。中級文法を習得しながら、読解力と表現力向上を目指します。週1回、半期ずつ1年間の履修です。

(2) 選択クラス [ドイツ語Ⅳa, Ⅳb]

ドイツ語を母語とするネイティブ・スピーカー教員による授業です。口語表現を中心にした授業内容で、初級文法を復習・定着させながら、ドイツ語で会話ができるようになることを目指します。週1回、半期ずつ1年間の履修となります。クラスごとに扱う教科書やテーマは異なりますが、学習内容と目標は同じです。各自時間割から都合の良い時限を選び、Webを使って第5希望までエントリーしてください。なお、本年度のWebエントリーは3月18日(火)10時から開始、締め切りは3月21日(金)16時45分までです。エントリー期間が短いので、特に注意すること。

選択

必修のドイツ語クラス2コマのほかに、さらにドイツ語を学びたい人は、必修として履修した以外の「選択クラス」(ドイツ語Ⅲa, Ⅲb)(担当教員の許可が必要)、または外国語教育研究センター設置の授業などを、総合教育科目Ⅲ類として履修することができます。しかし原則として、これらのいずれも必修の単位に読みかえることはできません(ただし、中上級レベル以上とドイツ語部会で認定された学生は、外国語教育研究センター設置のオープン科目・特設科目の中から2コマ分を、ドイツ語部会の上承を得たうえで必修の単位として履修できます)。

インテンシブクラス [ドイツ語インテンシブⅣa, Ⅳb・Ⅴa, Ⅴb・Ⅵ-I, Ⅵ-II]

(必修4単位、自主強化2単位)

原則として第1学年からの継続です。授業は週3回行われ、日本人教員が1コマ、ネイティブ・スピーカー教員が2コマ担当します。履修申告は必修科目2コマ(インテンシブⅣa, Ⅳb・Ⅴa, Ⅴb)、自主強化科目1コマ(インテンシブⅥ-I, Ⅵ-II)の組み合わせとなりますが、どちらかだけの履修は認められません。

第3・4学年

インテンシブクラス〔外国語演習〕

三田ではネイティブ・スピーカー教員による「外国語演習」の授業が設置されています。原則として履修できるのはインテンシブクラスの学生ですが、担当教員が許可すればインテンシブクラス以外の学生でも履修できます。専攻科目Ⅳ類として履修します。

ドイツ語Ⅳa, Ⅳb クラス選択について

ドイツ語Ⅳa, Ⅳb クラス選択について

下記の表よりエントリーコードを選び必ず第5希望まで申告してください。

第5希望までエントリーのないもの・記載不備のものは、定員に満たないクラスに振り分けます。

エントリーコード	担当者	曜日・時限
101	クリーク, ブリギッテ	月 2
102	シュミット, ウテ	月 2
103	クリーク, ブリギッテ	水 2
104	コンスタンティネスク, チェザル	木 4
105	フォーグル, ヴァルター	木 4
106	コンスタンティネスク, チェザル	木 5
107	シュミット, ウテ	金 1

※各科目の詳しい内容については Web 上の「シラバス・時間割」を参照してください。

フランス語履修案内

I. フランス語履修の仕組み

1. 第1学年

標準コース（必修，週2コマ，計4単位）

フランス語 Ia, Ib・IIa, IIb「初級」〔週2コマ・指定クラス〕

初めてフランス語を学ぶ人が対象です。週2コマ、同一の日本人教師が担当し、初級文法、発音、口語表現を学ぶ授業です。

フランス語 Xa, Xb・XIIa, XIIb「上級」〔週2コマ〕

帰国生を対象とし、面接により判定します。1・2年生の合同授業。フランス語の授業のみ所属クラスとは別の時間割によって受講してください。

インテンシブコース〔フランス語インテンシブ Ia, Ib・IIa, IIb・IIIa, IIIb〕

（必修2コマ4単位＋自主強化1コマ2単位，計6単位）

初めてフランス語を学ぶ人を対象として、少人数で、集中的に実践的なフランス語の習得をめざすコースです。

授業は週3コマ行われ、日本人教師が2コマ、ネイティブスピーカー教師が1コマ担当します。このコースを選択する人は、標準コースの指定クラス授業は履修せず、インテンシブコースの授業3コマ全部に出席してください。

将来のビジネス・研究・旅行のためにフランス語を話せるようになりたいと強く願っている人、在学中に実用フランス語技能検定（仏検）の受験を積極的にめざす人、さらに塾の交換留学制度でフランスへの留学を希望する人などを歓迎します。

少人数クラスのため定員があるので、希望者が多い場合には、選考により決定します。

希望者はオンラインフォームで申し込みをし、4月1日に行われる面接を受けてください。詳しくはフランス語ガイダンスで説明します。

2. 第2学年

標準コース（必修，週2コマ，計4単位）〔次頁Ⅱもあわせて熟読すること〕

フランス語Ⅲa, Ⅲb・Ⅳa, Ⅳb「中級」〔週2コマ：指定クラス1コマと選択クラス1コマ〕

「初級」を修了した人を対象とします。

フランス語Ⅹa, Ⅹb・ⅩⅡa, ⅩⅡb「上級」〔週2コマ：指定クラス2コマ〕

第1学年で「上級」を履修した人が対象です。1・2年生の合同授業。第2学年からの履修を希望する人は、フランス語担当教員に問い合わせてください。

インテンシブコース〔フランス語インテンシブⅣa, Ⅳb・Ⅴa, Ⅴb・Ⅵ-I, Ⅵ-II〕 （必修2コマ4単位+自主強化1コマ2単位，計6単位）

授業は週3コマ行われ、日本人教師が1コマ、ネイティブスピーカー教師が2コマ担当します。会話をふくむ総合的なフランス語の習得をめざすコースです。

このコースを選択する人は、標準コースの授業ではなく、インテンシブコースの授業3コマ全部を履修します。

自主強化

「中級」「インテンシブコース」を履修する人は、通常の授業2コマ（インテンシブコースでは3コマ）以外に自主強化科目として「中級」の授業を選択履修することができます。選択履修する授業の担当教員の許可を得たうえで、履修申告期間にB欄申告を行ってください。

Ⅱ. 第2学年の標準コースの授業内容と申告の方法

標準コースの2年生は以下の説明を熟読のうえ、間違いのないよう期限までに申告・手続きを行なってください。

1. 「フランス語Ⅲa, Ⅲb」、「フランス語Ⅳa, Ⅳb」の内容

2年生全員に週2コマの授業（「フランス語Ⅲa, Ⅲb」, 「フランス語Ⅳa, Ⅳb」を各1コマ）が必修です。その内容は次の通りです。

●「フランス語Ⅲa, Ⅲb」（文法・講読）

文法と講読を中心に読解力を養成する授業。指定クラス

●「フランス語Ⅳa, Ⅳb」（演習）

作文・聴解・会話など、表現力・運用力を養成する授業。選択クラス（ただし「上級」は指定クラス）

従って、「中級」の履修者は2コマのうち1コマ（フランス語Ⅲa, Ⅲb）は指定クラス、1コマ（フランス語Ⅳa, Ⅳb）は選択クラスでの授業となります。「上級」の履修者は2コマとも指定クラスでの授業となります。

2. 「フランス語Ⅳa, b」（演習）の希望申告の仕方

- a. 「シラバス」を参照のうえ、希望する授業を必ず第5希望まで申告してください。
各授業のエントリーコードは次の表を参照のこと。
- b. 希望申告（エントリー）する際「商学部第2学年授業時間割」により、必修科目と時間割上の重複がないよう、充分配慮してください（少なくとも、第2希望までは絶対に重複させないこと）。
- c. クラスの振り分け作業では第1希望を優先しますが、各授業には定員があるため（会話クラスは20名、その他は25名程度）、定員超過の時は、第2希望～第5希望に振り分けられることもあります。
- d. エントリー期限 3月18日（火）10：00～21日（金）16：45まで
- e. エントリー方法 Web エントリーシステム
- f. 結果発表 3月27日（木）午後、Web エントリーシステム
- g. 授業開始 4月8日（火）
- h. 注意事項
 1. 「エントリー」に際しては、注意書きをよく読み、漏れのないようにすること。
 2. 第5希望までの申告がないもの・エントリーの不備・未提出等のものは無効とし、定員に満たない授業に振り分けます（この場合、他の必修科目と重複し、今年度「フランス語Ⅳ」（演習）を履修できないこともあるので、特に注意すること）。
 3. 希望申告（エントリー）締切り後の変更は認められませんので、申告に際しては充分に注意すること。
 4. 全体の履修申告は、この手続きとは別に必ず行うこと。

フランス語Ⅳa, Ⅳb クラス選択について

エントリーコード	担当者	曜日・時限
101	ローベル, ロラン	火 1
102	ローベル, ロラン	火 2
103	堀 容子	火 1
104	堀 容子	木 1
105	クレメール 小椋, アレクサンドラ	水 1
106	クレメール 小椋, アレクサンドラ	木 1
107	野崎夏生	木 1
108	野崎夏生	木 2
109	サンティヴ, ピエール	木 2
110	サンティヴ, ピエール	木 3
111	ボトス, ブノワ	木 3

※各科目の詳しい内容については Web 上の「シラバス・時間割」を参照してください。

フランス語Ⅳ a 1単位 (春学期)

フランス語Ⅳ b 1単位 (秋学期)

フランス語のコミュニケーション力 (中級レベル) を身につける

春学期・秋学期：火1／火2

セット履修

ローベル, ロラン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

フランス語での自己表現、会話と作文に重点を置いて、フランス語で伝えたいことを正しく表現する方法を学びます。また、フランス語会話に必要な基礎語彙を学び、定期的に小テストで理解度を評価します。

受講生の到達目標

(1) 平易な語彙を用いて、日常生活での様々な場面でコミュニケーションをとることができる。

(2) 簡単な日常会話を聞き取ることができる。

(3) フランス文化についての知識を深める。

(4) 実用フランス語技能検定試験3級以上、またはフランス文科省認定資格試験 DELF A2レベル程度の聴解・読解・表現能力を獲得する。

成績評価方法：

出席度・宿題・課題 50%

小テストとテスト 50%

テキスト (教科書)：

原大地、ローベル・ロラン他著『Pilote 2』(朝日出版社)

参考書：

『フランス語動詞60 ー活用・用法・索引ー』朝日出版社

『フランス文法総まとめ』白水社

担当教員から履修者へのコメント：

授業は基本的にすべての時限を対面で行います。

教材は指定された教科書とプリントになります。配布されたプリント等を保管するためにかならずファイル等を用意してください。またノートもしくは紙を毎回持ってきてください。

なお、本授業では教科書やプリントに加え、リスニング練習とフランス語実践のためにビデオゲームの抜粋とボードゲーム／カードゲームを数回使います。

質問・相談：

授業中、またメールにて受け付けます。

フランス語Ⅳ a 1単位 (春学期)

フランス語Ⅳ b 1単位 (秋学期)

春学期・秋学期：火1／木1

セット履修

堀 容子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

フランス語の初級文法を一通り学習した学生が、その文法知識を生かし、実際に運用できるようになることを目的とした授業です。読む・書く・聞く・話すの四技能の上達を目指しますが、特に口頭でのコミュニケーションを重視し、ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学生が積極的に参加する、発話機会の多い授業となります。

既習の文法事項をしっかりと自分のものにしつつ、それを用いて場面と機能 (依頼する、説明する、など) に応じた表現ができるようになることを目標とします。

成績評価方法：

コミュニケーション技術を身に着ける授業のため、出席は重要となります。成績評価は、授業参加 (出席し、発音練習や練習問題をやる、ペア相手と積極的に会話するなど) が60%、期末の口頭試験が40%とします。よって、出席回数が一定数より少ない場合は自動的に単位が取れないことになります。また、30分以上の遅刻は0.5回分の出席とみなします。以上の基準は、授業内でのより多くのコミュニケーション練習を目的とするために設けるものです。

テキスト (教科書)：

春学期：『ピロット 2』原大地他著 朝日出版社 2024年

『パタシュ 2』村松マリ＝エマニュエル著 朝日出版社 2010年

秋学期：『パタシュ 2』

担当教員から履修者へのコメント：

授業の進度は状況により変化する場合があります。また、1限で出席重視の授業ではありますが、出席すればいいだけではありません。ペア相手との会話などお互いに協力しあい、積極的に参加できる方が履修してください。

フランス語Ⅳ a 1単位 (春学期)

フランス語Ⅳ b 1単位 (秋学期)

フランス語でコミュニケーション

春学期・秋学期：水1

セット履修

クレメール 小椋, アレクサンドラ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業の目標は、特にスピーキングとリスニングに焦点を当てた 4 つのコミュニケーションスキルを向上させることです。また、新しい文型や語彙も学びます。ペアでフランス語を練習すると、言語スキルにさらに自信が持てるようになります。

授業は基本的にすべての時限を対面で行います。

春学期：教科書の「Nouveau On pratique!」を利用します。初級レベルで学習した文法の復習も行います。

秋学期：「Nouveau On pratique」を終了します。授業の進み方により、『PILOTE 2』の一部を使ってコミュニケーションに取り組みます。

成績評価方法：

授業内試験および平常点（課題、会話、積極的な授業参加など）により評価します。

テキスト（教科書）：

Kitamura, Ayako. Durrenberger, Vincent (2017). 新オンプラティック NOUVEAU ON PRATIQUE!. 朝日出版社 ISBN: 978-4-255-35274-9

担当教員から履修者へのコメント：

必要に応じて日本語や英語でも説明します。

3 回以上の欠席は認めません。

毎回の予習、復習は勿論のこと、授業への積極的な参加が望まれます。

授業の開始前に、これまでに学んだ基本的な文法を復習してください。

授業の進み方により、内容に変更される場合があります。予めご了承ください。

質問・相談：

授業内

フランス語Ⅳ a 1単位 (春学期)

フランス語Ⅳ b 1単位 (秋学期)

フランス語で話しましょう！

春学期・秋学期：木1

セット履修

クレメール 小椋, アレクサンドラ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業の目的はコミュニケーション能力を伸ばすことです。初級で学んだ文法を復習しながら、特に、話す・聞くに焦点をあわせて向上させます。また、新しい文型と語彙もたくさん学ぶことができます。ペアでフランス語を練習することで、言語能力にさらに自信を持たせることに役立ちます。

授業は基本的にすべての時限を対面で行います。

春学期：「EN SCÈNE 1!」を利用します。

秋学期：「EN SCÈNE 1!」を終わらせます。授業の進み方により、「PILOTE 2」の一部を使ってコミュニケーションの練習をしていきます。

成績評価方法：

授業内試験および平常点（課題、会話、積極的な授業参加など）により評価します。

テキスト（教科書）：

ワークブック付 場面で学ぶフランス語 1 [三訂版] EN SCENE I Troisième édition 高橋百代 著/ Nicolas JEGONDAY 著/ 林宏和 著/ Cédric YAHYAOUÏ 著 Sanshusha 三修社 大学教科書 2018年 ISBN978-4-384-22055-1 C1085

担当教員から履修者へのコメント：

必要に応じて日本語や英語でも説明します。

3 回以上の欠席は認めません。

毎回の予習、復習は勿論のこと、授業への積極的な参加が望まれます。

授業の開始前に、これまでに学んだ基本的な文法を復習してください。

授業の進み方により、内容に変更される場合があります。予めご了承ください。

質問・相談：

授業内

フランス語Ⅳ a 1単位 (春学期)

フランス語Ⅳ b 1単位 (秋学期)

春学期・秋学期：木1

セット履修

野崎 夏生

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では学んだ文法の習得を前提とし、会話で話す能力を高め、さらに発展させることを目的とします。
会話力を向上させるために、学んできた基本的な文法をもとに、様々なアクティビテを通じて、やり取りが豊かに発展するよう指導します。

例えば自分のことや、家族・友人のこと、好きなこと、これからしたいこと等について話し、さらに簡単な意見を主張できるようになることを目指します。

成績評価方法：

授業内試験及び平常点（出席状況・授業への貢献度・小テストや課題）により評価します。

テキスト（教科書）：

原大地（2024年）Pilote 2、朝日出版社 ISBN 978-4-255-35360-9

参考書：

特になし

担当教員から履修者へのコメント：

授業は基本的にすべての時限を対面で行います。

フランス語Ⅳ a 1単位 (春学期)

フランス語Ⅳ b 1単位 (秋学期)

春学期・秋学期：木2

セット履修

野崎 夏生

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

初級で学んだ文法を会話で話す能力を高め、さらに発展させることを目的とします。
この授業では会話力を向上させるために、学んできた基本的な文法をもとに、様々なアクティビテを通じて、やり取りが豊かに発展するよう指導します。

例えば自分のことや、家族・友人のこと、好きなこと、これからしたいこと等について話し、さらに簡単な意見を主張できるようになることを目指します。

成績評価方法：

授業内試験及び平常点（出席状況・授業への貢献度・小テストや課題）により評価します。

テキスト（教科書）：

原大地（2024年）Pilote 2、朝日出版社 ISBN 978-4-255-35360-9

参考書：

特になし

担当教員から履修者へのコメント：

授業は基本的にすべての時限を対面で行います。

フランス語Ⅳ a 1単位 (春学期)

フランス語Ⅳ b 1単位 (秋学期)

シチュエーションで学ぶフランス語

春学期・秋学期：木2

セット履修

サンティ ヴ, ピエール

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

さまざまな日常生活の場面で対話を通して、フランス語でコミュニケーションができることを目指す。フランス語が苦手な方向けに、復習をしながらフランス語の語学力を身につけて行く授業です。

授業は対面実施をします。なお初回授業は対面です。

成績評価方法：

テストや試験の結果、また授業態度による評価。

テキスト（教科書）：

ワークブック付 場面で学ぶフランス語1 [三訂版] EN SCENE I Troisième édition 高橋百代 著/ Nicolas JEGONDAY 著/ 林宏和 著/ Cédric YAHYAOUI 著 Sanshusha 三修社 大学教科書 2018年

ISBN978-4-384-22055-1 C1085

担当教員から履修者へのコメント：

会話が中心の授業ですので、積極的に話す意欲をもつ学生を歓迎します。出席は重要です。

質問・相談：

授業の前と後に受け付けます。

フランス語Ⅳ a 1単位（春学期）

フランス語Ⅳ b 1単位（秋学期）

使える・はなせるフランス語

春学期・秋学期：木3

セット履修

サンティヴ、ピエール

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

文法を中心に学ぶことの多い学部授業をおぎない、発音と会話の力を身につけることが目的です。さまざまな場面での会話の練習とディスカッションを通じて表現と語彙の力をのばします。フランス語Ⅲの授業の教科書『ピロット2』を使用するレッスンもあります。（可能）

授業は対面実施をします。なお初回授業は対面です。

成績評価方法：

テストや試験の結果、また授業態度による評価。

テキスト（教科書）：

新・オン プラティック！Nouveau On pratique！北村亜矢子 / ヴァンサン・ドゥランベルジェ、朝日出版社、2022年。ISBN: 978-4-255-35274-9

担当教員から履修者へのコメント：

会話が中心の授業ですので、積極的に話す意欲をもつ学生を歓迎します。出席は重要です。

質問・相談：

授業の前と後に受け付けます。

フランス語Ⅳ a 1単位（春学期）

フランス語Ⅳ b 1単位（秋学期）

日常生活のフランス語

春学期・秋学期：木3

ボトス、ブノワ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

・フランス語の口頭表現を中心とした授業です。対象としては、1年生のときに必修のフランス語を学習した学生を念頭においています。

・教科書として『Pilote 2 : Cours de français intermédiaire』（朝日出版）を用い、毎回各レッスンの Expression（表現）の部分を中心に進みます。

・フランス語の運用能力を高めたい学生、一年生の授業で得たフランス語の知識を深めたい学生、フランスへの留学を検討している学生におすすめします。

・正しい発音はフランス語話者との効果的なコミュニケーションに必要不可欠であるため、毎週フランス語の子音・母音やリズム等の音声的特徴の説明・練習をします。

成績評価方法：

出席度＋クラス中の態度 30%

課題提出＋語彙小テスト 30%

中間・期末テスト 40%

テキスト（教科書）：

『Pilote 2 : Cours de français intermédiaire』朝日出版

担当教員から履修者へのコメント：

積極的な学生参加を求めます。また、毎週授業に来る前に予習・復習をする必要があります。

質問・相談：

講義の前後、またはメールにて随時受け付けます。

中国語履修案内

第1学年

◆レギュラークラス【必修中国語Ⅰa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb各2単位】

- クラス：必修中国語は週2コマあり、クラスと時間割は指定されます。必修科目の履修方法にしたがって履修申告をしてください。

◆インテンシブクラス【必修中国語+選択計6単位】

実践的な中国語の習得を目的として開設された週3回の選択必修コースで、週2回を日本人教員が、1回をネイティブ教員が担当します。このコースを履修する学生は、入学時に指定された【中国語Ⅰa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb】の授業を履修しません。

話せるようになることを最大の目標として、授業中の発音指導、会話練習にウェイトをおきます。大学在学中に中国語をマスターして、専門分野や社会において中国語を武器にして活躍したい学生の履修を歓迎します。定員があるので、定員を超えた場合は選考により決定します。

履修申告は必修科目2コマ、自主強化科目1コマの組み合わせとなりますが、3コマとも履修しなければなりません。詳しくは、学部ガイダンスの時に説明します。

(希望者は4月1日(火)11時30分までにオンラインフォームから申し込みをしてください。発表は3日(木)の午前中に行います。)

※中国語の初級レベルを大幅に上回り、かつ中級以上の授業を強く希望する場合は、中国語の審査と学習指導の承認を経た上での別クラス選択の可能性もありますので、4月1日(火)15時までに日吉学生部商学部窓口に出してください。

第2学年

◆レギュラークラス

第2学年の必修中国語は【中国語Ⅲa, Ⅲb】と【中国語Ⅳa, Ⅳb】に分れますが、両方の単位を取得しなければなりません。

■【中国語Ⅳa, Ⅳb】2単位

- クラス：【中国語Ⅳa, Ⅳb】は少人数クラスでの会話力養成を目指すものです。

本年度は計18クラス設置しています。履修者全員が指定されたクラスを履修することになります。 keio.jp で自分の所属クラス、曜日、時限を確認し、指定された教科書を購入した上で授業に臨んでください。

◆インテンシブクラス【中国語必修+選択6単位】

第1学年時のインテンシブクラスに接続する選択必修コースで、履修者は週3回とも授業に出席してください。前年度に引き続き会話能力の向上を目指した授業を行います。原則として第1学年でインテンシブクラスを履修した学生を対象とします。第2学年から新たにこのクラスを希望する学生は、担当教員との相談の上で履修することができます。

履修申告は必修科目2コマ、自主強化1コマの組み合わせとなりますが、3コマとも履修しなければなりません。

スペイン語履修案内

第1学年

必修【スペイン語Ⅰa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb】計4単位

- クラス：第1学年のスペイン語の授業は下記の週2コマです。指定されたクラスで履修してください。
 - (1) スペイン語Ⅰa, Ⅰb：初級文法を習得しながら、読解力と表現力を身につけます。
 - (2) スペイン語Ⅱa, Ⅱb：スペイン語Ⅰa, Ⅰbと連携しながら、ネイティブ教員と会話力の向上を目指します。
- 教科書：生協の教科書販売所で指定教科書『イメージ・スペイン語』を購入してください。
- 一斉テスト：スペイン語Ⅰa, Ⅰbの期末試験は、定期試験期間中の一斉テストとして実施します。

【スペイン語インテンシブⅠa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb・Ⅲa, Ⅲb】計6単位

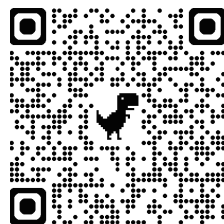
(必修4単位、自主強化2単位)

より高いレベルのスペイン語習得を目指す意欲ある学生は、インテンシブクラスを選択することができます。将来、仕事や研究で使えるレベルのスペイン語を身につける、在学中にDELE（スペイン政府が実施する公的スペイン語検定）を取得する、スペイン語圏への留学（慶應義塾の交換留学制度および私費）を目指すなどの、高い目標を持っている人を歓迎します。

少人数制で日本人教員（週2コマ）が文法中心の授業を、ネイティブ教員（週1コマ）が会話の授業を担当します。インテンシブコース履修者は、普通コースではなく、週3コマのインテンシブコースの授業（必修科目2コマ＋自主強化科目1コマ）すべてに出席しなければなりません。内容に関する詳細は「1年生学科目ガイダンス・スペイン語」（オンデマンド資料）および「シラバス・時間割」に記載しますので、希望者は必ずこれらを熟読した上でスペイン語ガイダンスにも出席して下さい。

【申込受付と選抜】

- 申込受付：下のオンラインフォームで受け付けます。締切は4月1日（火）12：00です。申込に際しては、必ず keio.jp アカウントのメールアドレスを入力して下さい。
(URLとQRコードは「1年生学科目ガイダンス・スペイン語」（オンデマンド資料）にも記載しています。)



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSex01CkPh5SsZRxEtMUEx5ctDd46PjsZGae3mov6bPmmF90yQ/viewform?usp=pp_url

- 選抜：受付締切後直ぐに面接を行います。時間と場所については本冊子 p.5 を参照して下さい。

第2学年

必修【スペイン語Ⅲa, Ⅲb・Ⅳa, Ⅳb】計4単位

●クラス：第2学年のスペイン語の授業は下記の週2コマです。

- (1) スペイン語Ⅲa, Ⅲb（第1学年と同じ指定クラス）：中級文法を習得しながら、読解力と表現力の向上を目指します。
- (2) スペイン語Ⅳa, Ⅳb（指定クラス）：スペイン語Ⅲa, Ⅲbと連携しながら、ネイティブ教員と会話力の向上を目指します。

●教科書：生協の教科書販売所で指定教科書『イメージ・スペイン語2』を購入してください。

【スペイン語インテンシブⅣa, Ⅳb・Ⅴa, Ⅴb・Ⅵ-I, Ⅵ-II】計6単位

（必修4単位、自主強化2単位）

第1学年に引き続いてインテンシブ・コース履修を許可された学生と第2学年からの編入を許可された学生は、インテンシブクラス計3コマを履修します。日本人教員（週1コマ）が文法中心の授業を、ネイティブ教員（週2コマ）が会話の授業を行います。履修申告は必修科目2コマ、自主強化科目1コマの組み合わせとなります。どちらかだけの履修は認められません。教科書などはWeb上の「シラバス・時間割」の「スペイン語インテンシブ講義要綱」を参照してください。

商 学 部

総合教育セミナー履修案内

【商学部設置の少人数セミナー形式科目】総合教育セミナー履修案内

総合教育セミナーのすすめ

大学における教育は多くの場合、講義という形態をとります。先人から受け継いだ知識を正確に教師から学生に伝達することが大きな目標のひとつですが、これを達成する効率的な方法として講義は優れています。しかし、講義の弱点は、学生が積極的に考え始め、教師と議論をしたり、さらに学生同士が意見の交換をしなくなった時にはあまり小回りがきかないことです。また、積極的な議論を誘発する雰囲気になじくなくなる傾向があることもあげられます。

この弱点を補うために、商学部では総合教育セミナーと呼ばれる授業形態を提供しています。教師と学生、あるいは学生同士の交流が授業時間内に活発に行われるようにとの配慮で、少人数のクラスとなっています。商学部の学生の資質として、自分の考えを論理的にまとめることができ、その考えを的確な日本語あるいは外国語のことばや文章で表現でき、さらに他人のことばや文章の意味を正確に理解でき、その上で有益な議論を展開できる能力が求められています。この能力を養うことが総合教育セミナーの主な目的なのです。

総合教育セミナーとして開講されるトピックスには様々なものがあります。積極的に参加してください。君達の興味に最も合うものを選べばよいと思います。総合教育セミナーに参加し、教師や学友と親しく接することにより、大人として生きるかぎり陰に陽に問われる君たちの人生観や価値観を形成するきっかけも得られるかもしれません。

総合教育セミナーの履修上の注意

この科目は、選択必修科目ではありません。また仮登録が必要な科目でもありません。

少人数のゼミという形態の授業ですので、担当者によって、履修人数の制限がされることがあります。

履修希望者は、必ず第 1 週目にある初回の授業に出席してください。出席しない場合は、履修できないこともあります。

総合教育セミナーは、①担当者が異なる場合、または②同担当者でもサブタイトルが異なる場合には同名科目であっても履修が認められます。

総合教育セミナーの内容を知るには

各総合教育セミナーのタイトル一覧は、『商学部第 1 学年授業時間割』『商学部第 2 学年授業時間割』に、「少人数セミナー形式授業科目」として掲載されています。商学部だけでなく他学部の教員が担当するセミナーもありますが、どれでも受講することができます。各セミナーの内容を、より詳しく知るにはシラバスを参照してください。

「シラバス・時間割」の利用について

Web 上の「シラバス・時間割」は、以下の方法で利用することができます。

○「K-LMS」から利用する方法

keio.jp（共通認証システム） … <http://keio.jp>

keio.jp にログイン後、Application から「授業」→「K-LMS」を選択

○塾生サイトからアクセスする方法

塾生サイト日吉キャンパス各学部ページ … <https://www.students.keio.ac.jp>

「授業」→「履修案内・講義要綱・時間割」→「シラバス・時間割 Web 検索」を選択

総合教育セミナーDa (I類) 2単位 (春学期)**総合教育セミナーDb (I類) 2単位 (秋学期)**

数学文献輪読

セット履修

岩尾 慎介

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この講義は、受講者が学んだ内容を他の受講者に向けて解説する、セミナー形式で行います。受講者は、微分積分学や離散数学などの数学分野から興味のあるテーマの一つを選び、英語で書かれた教科書を用いて事前に学習します。セミナーでは、学んだ内容をもとに日本語で解説することが求められます。早い段階で学術的な文章に慣れ、自ら文献にあたれるようになることを目指します。

成績評価方法：

毎回のセミナーの参加度合（出席・貢献度）で評価します。

テキスト（教科書）：

Calculus もしくは Discrete mathematics の英語文献を用います。受講者の希望に応じて第1回講義時に決定しますので、あらかじめ購入する必要はありません。

参考書：

講義中に紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面実施を基本としますが、必要に応じてオンライン（オンデマンド形式）による授業を行う可能性もあります。なお初回授業は対面です。

当セミナーは商学部数理解科学プログラム認定科目のひとつとなっています。

質問・相談：

授業後、もしくはオンラインにて受け付けます。オンラインでの質問方法は canvas を確認してください。

総合教育セミナーDa (I類) 2単位 (春学期)**総合教育セミナーDb (I類) 2単位 (秋学期)**

最先端の研究の情報に触れてみよう

セット履修

木島 伸彦

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

本講義では、インターネットで手軽に手に入る専門家向けの情報のうち、PubMed に注目して、PubMed を自由に使いこなせるようになり、医学あるいは心理学に関する専門的情報を集めて自分なりの判断ができるようになることを目的とします。

現在、情報はとても手軽に入手できる時代になりましたが、その情報には真実から遠いものも少なくありません。更に困ったことに、教科書、新聞、政府の情報等権威づけられているものが常に正しいとは限りません。我々現代人は、巷に過剰に溢れる情報におぼれることの無いよう、「正しい」情報を取捨選択して、自分なりの判断の材料としなければなりません。

例えば、病気になった場合、全てを医師に委ねますか？それとも、賢明にも自分で少しでも調べてみますか？でも、どうやって調べたらいいのでしょうか。表現の自由が保障されている書籍には、間違いや「昔は正しいと思っていたけど、今は否定されたもの」や明らかな嘘まで含まれています。ノーベル賞を取った権威ある治療法でさえ、後年、否定されたものさえあります。つまり、書籍も重要ですが、十分ではないということです。

そこで、PubMed を利用してみましょう。PubMed は、インターネットを使える環境にあれば、誰でも無料で利用できます。PubMed は、Public Medicine の略で、全ての人のためのものです。基本的に医学に関するものですが、心理学に関する研究も載っています。早速、自分の興味のあることを調べてみましょう。医学、心理学以外の専門知識の情報を調べる良い練習になります。

成績評価方法：

出席、最終的な成果で評価します。毎回出席することを基本とします。欠席する場合は教員に連絡することを必須とします。

テキスト（教科書）：

なし

参考書：

古川壽亮 （2010）エビデンス精神医療—EBP の基礎から臨床まで 医学書院

担当教員から履修者へのコメント：

PubMed は医学情報を得る際の非常に便利なツールですが、全て英語で書かれています。従って、授業では英語が読めるという前提で進めます。また、授業時間外に自分で調べる時間も多くなり、負担もあります。毎回の出席を義務とし、自分で調べて、その成果を発表してもらうので、積極的に学ぶ意欲のある学生を歓迎します。

なお、履修希望者が8名を超えた場合は選抜を行います、基本的には2年生を優先します。

総合教育セミナーDa (I 類) 2 単位 (春学期)**総合教育セミナーDb (I 類) 2 単位 (秋学期)**

物理学輪講 (行動経済学、経済物理学など)

セット履修

新田 宗土

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

物理学の扱う対象は人間の関わらない現象、いわゆる自然現象のみだと思っている人がほとんどであろう。物理学が自然科学の一分野だからである。ところが近年、物理学の手法を用いて様々な人文社会現象も扱えるようになってきている。社会物理学や経済物理学がそれにあたる。

本セミナーでは、物理学のどのテーマでも良いが、一例として、このテーマから教科書を選んで学生による輪講を行う。

成績評価方法：

セミナーなので、毎回出席することを前提としますので、欠席すると授業は成り立ちません。評価ポイントは

(1) 担当時にいかにしっかり予習してきたか。

(2) 発表はわかりやすく説明できているか。

(3) 担当の時以外も、積極的に参加をし、質問をしているかです。

テキスト (教科書)：

以下は教科書の一例です。最近[I]を使いましたので第一候補ですが、参加者と話し合って決めます。

[1] 「行動経済学 -- 伝統的経済学との統合による新しい経済学を目指して 新版」

大垣 昌夫 (著)、田中 沙織 (著) 有斐閣; 新版 (2018/12/22)

ISBN-10 : 4641165386

ISBN-13 : 978-4641165380

[2] 「経済物理学の発見」 高安秀樹著 光文社新書 2004年

ISBN-10: 4334032672

ISBN-13: 978-4334032678

担当教員から履修者へのコメント：

この授業は物理学の知識は仮定しませんが、最低限、高校の理系の数学か大学の微積分の知識を仮定します。また、このセミナーは毎回2人くらいの少人数になることが多いです。その場合は、毎回当たることになってしまいますが、全員十分やる気があって準備をしてくることを前提としています。

質問・相談：

授業中は全員毎回、発表者に質問をしてください。

総合教育セミナーDa (I 類) 2 単位 (春学期)**総合教育セミナーDb (I 類) 2 単位 (秋学期)**

相対性理論

セット履修

新田 宗土

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

アインシュタインが発見した相対性理論は、それまでの時間と空間の概念を根底から覆しました。そこでは、時間と空間は一体となった時空として理解できます。果たして時間旅行 (タイムマシーン) や瞬間移動 (スペースワープ) は可能なのでしょうか？そして、宇宙旅行に関する双子のパラドックスなど様々なパラドックスが存在します。これらのパラドックスを、皆さんが力を合わせて解いて行きます。最終的には、皆さんにオリジナルの新しいパラドックスを見つけてもらいます。

成績評価方法：

セミナーなので、毎回出席することを前提としますので、欠席は減点です。評価ポイントは

(1) 担当時にいかにしっかり予習してきたか。

(2) 発表はわかりやすく説明できているか。

(3) 担当の時以外も、積極的に参加をし、質問をしているかです。

テキスト (教科書)：

『数式いらず! 見える相対性理論』竹内 建著 岩波書店 ASIN:4000055291

絶版のようなのでアマゾンなどで購入して下さい。

担当教員から履修者へのコメント：

相対性理論は、頭を柔らかくして常識を捨てることさえ出来れば、文系学生にも理解できないような難しいものではありません。しかし、やる気と興味がなければ、到底理解することは不可能です。逆に言うと、自分は頭がよくないと思っても、やる気と興味さえあれば、なんとでもなりますので、心配ありません。ゆっくりと時間をかければ、必ず理解のできるものです。特にこの教科書は数式を使わずに、文系学生が完全に理解できるように工夫されています。

質問・相談：

発表者の質問は、授業が始まる前にしてください。授業中は全員毎回、発表者に質問をしてください。時間外も質問・相談に応じます。

総合教育セミナーDa (I類) 2単位 (春学期)**総合教育セミナーDb (I類) 2単位 (秋学期)**

サステナブルエネルギー

セット履修

フラキ, アントニノ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

エネルギーとサステナビリティ(持続可能性)は、地球上の生命の未来にとって、少なくとも二つの理由から、もっとも重大な議論の核心となっている。ひとつには、現在主流の化石燃料は有限の資源であり、この先資源供給の確保に問題があると同時に、代替エネルギー資源の早急な確保の必要性があるということ。ふたつめには、化石燃料がかなりの高確率で気候変動を引き起こしているであろうと考えられるためである。しかしながら、今日および未来の社会におけるこれらの問題の重要性に関わらず、私たちがこの問題について普段見聞きする多くのことは精確でないか正しくないのである。このセミナーの目標は、シンプルで、科学に基づいた、現実的なエネルギー問題の様相を明らかにし、それを理解するうえで欠かせない様々な数量データを、包括的に比較可能、かつ記憶することの出来るものにあることにある。そしてこのことは、私たちがエネルギー問題を明快に理解し、現在提案されていて見込みのある数々のソリューションを評価するための手立てとなるはずである。具体的にはまず、先進国において平均的な人が消費するエネルギーの量と使用内容を調べるのが第一のターゲットとなる。次に、将来性のありそうな再利用可能エネルギーの生産と保全に焦点をあて、太陽光、風力、その他再利用可能な資源が供給しうるエネルギーはどの程度なのか、そしてどのくらいのエネルギーを節約しうるのかについて学ぶ。第三に、それまでに調べてきた内容を総合し、未来のエネルギー政策の指針となりうるようなエネルギー計画を考案することが最終ステップとなる。

成績評価方法：

成績は、出席と宿題の総合点にて評価します。

テキスト(教科書)：

MacKay, David. (2016). Sustainable Energy, UIT Cambridge.

担当教員から履修者へのコメント：

このセミナーを受講するにあたり、前提となる必須要件はありません。数学やプログラミング、科学の予備知識は不要で、授業に参加し学ぶ意欲のある人誰しにも開かれた科目です。講義はすべて英語で行い、受講者は英語を話し英語を使って授業に参加することが求められます。なお、このセミナーでは、「Sustainable energy, without the hot air」(David MacKay 著)を教材として使用します。無料の PDF バージョンが著者のウェブサイト [<https://www.withouthotair.com>] より利用可能ですので、この科目に興味のある方は一度目を通してみることをお勧めします。またあわせて、著者 MacKay のエネルギーに関するトピックを取り上げた TEDTalks を視聴するのもお勧めです。セミナーの第二部では、その他の著述やビデオ資料も取り上げます。E メールおよび Webex あるいは Zoom で、さらに詳細な内容を説明することも出来ますので、希望する方は担当フラキ(flachi@keio.jp)まで連絡してください。なお、このセミナーのワークロード(課題や予習復習)は次の通りです。

・受講者には、教材「Sustainable energy, without the hot air」より毎週10ページ程度の内容を読み要約しておくことを求めます。

・講義時間はディスカッションするために使います。したがって、必ず教材に目を通し準備をしたうえで講義に臨んでください。・セミナーの第二部では、教材を読むだけでなく、インターネットでの調査をもって内容を補います。

・以上より、授業の準備に毎週2〜3時間程度の時間を割くことを受講生には期待します。

質問・相談：

講義はすべて英語で行いますので、受講者は英語を使って授業に参加することが求められます。

この科目の講義は原則として対面形式で行います、講義へは出席必須となります。

総合教育セミナーDa (I類) 2単位 (春学期)**総合教育セミナーDb (I類) 2単位 (秋学期)**

人生を科学する

セット履修

松浦 壮

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーでは、自分の人生という最も身近なテーマをターゲットに据え、将来にわたる武器の1つとして「科学の方法」を習得する場を提供します。

科学と言うと自然科学を想像しがちですが、科学は本来、出来る限り信頼出来る結論を導くために生み出された方法論のひとつで、その対象は多岐にわたります。事実、いわゆる「文系」に区分される学問の多くも「人文科学」と呼ばれる科学の一分野です。そのため、巷でよく言われる文系／理系の区別には何の意味もありません。専門分野に関係なく、総合的かつ合理的な結論を導き、それを自らの血肉にする能力を持つことこそが大切なのであり、科学はその中核をなす方法論です。

その一方で、仮定と推論が密に連携し、体系がコンパクトな自然科学が、科学の方法論を学ぶための良い教科書になるのもまた確かです。そのため、より複雑な対象を系統的に理解するための道筋を得るためには、自然科学を学ぶのが最も回り道が少ないと言えるでしょう。

そこで本セミナーでは、春学期を準備期間と位置づけ、7名の(日本人)物理学者「ロゲルギスト」が記した科学エッ

セーの代表作「物理の散歩道」を教科書とし、輪読と内容に関する議論を行います。「物理の散歩道」は、書かれた年代こそ古いですが、その内容は物事の核心を突いており、時代に関係なく通用する珠玉のエッセー集です。仮にこのセミナーを受講しなかったとしても、在学中に一読することをお勧めします。各人ひとつのエッセーを担当し、その内容を読み込んでいただきます。担当者は、その日の議論の進行役を務めます。エッセーの内容を元に議論のテーマを提供し、書かれた内容以上の理解に至るまで深掘りすることを目指します。議論するとはどういうことか、理解した内容を人に伝える文章とはどのようなものかを体感として学ぶ事が目的です。

秋学期には、春学期で学んだ方法論を実践し、自らの人生を科学的に分析します。一例ですが、卒業後の進路を多角的に分析し、それに基づいた人生設計をまとめる、といったようなテーマを想定しています。情報を収集し、疑問点を洗い出し、必要なら統計を取り、出来る限りニュートラルな立場から意味のある結果を導くことが要求されます。一般に、就職活動が間近に迫るまでは中々真面目に考える機会のない「自らの人生」にじっくり向き合う時間になればと考えています。

本セミナーは、必要に応じて前提となる知識を補足するための講義をすることもあります。基本的に発表と議論で構成されます。毎回の講義で、次の講義までに調べるべきテーマを提示しますので、発表担当のグループはそのテーマについて調べ、講義で発表していただき、その内容を全員で議論し、次に理解するべきテーマを提示していただきます。

理解に完璧という事はありません。議論が適度に協道に逸れることもまた重要です。議論を通じてお互いにフィードバックを与え合うことで、理解が次第にブラッシュアップされていく経験を積んでいただければと考えています。

また、各学期の最後には、学んだ内容をレポートにまとめ、その内容を発表してもらうことを考えています。レポートのまとめ方やプレゼンテーションの技術を学ぶ場としても活用していただければと思います。

成績評価方法：

発表内容と議論への参加状況、及び、レポートとプレゼンテーションの内容で評価します。

テキスト（教科書）：

「精選 物理の散歩道」 ロゲルギスト(著)、松浦壮(編集)、岩波書店、2023年、ISBN: 978-4003395615

「宇宙を動かす力は何か」 松浦壮著 新潮社 ISBN: 978-4106106439

「時間とはなんだろう 最新物理学で探る「時」の正体」 松浦壮著 講談社 ISBN-13: 978-4065020319

担当教員から履修者へのコメント：

予備知識は仮定しませんが、調べた内容を人前で説明するためには、発表の時には自分の言葉で説明出来る程度の知識を持っている必要があります。分からない部分を分かるところまでさかのぼって調べる姿勢が必要になるでしょう。

安直で表面的な知識だけに満足せず、物事の本質を理解したいという熱意を持った方を歓迎します。

議論を通じて学びを一緒に楽しみましょう。

質問・相談：

授業中の質問は歓迎します。相談は授業終了後に受け付けます。授業以外の時間でも、居室（2201）に直接来ていただければ（時間の許す限り）質問・相談を受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅰ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅰ類） 2単位（秋学期）

Applied mathematics

セット履修

丸山 芳人

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

データ解析を行う上で必要となる基本的事項と統計的考察のうち、記述統計学と呼ばれる分野を中心に学習します。前半は高校数学の内容を基に和書を、後半は平易な英語で書かれた演習書を輪読します。

毎回当番を決め、発表者には指示された箇所を読んでその内容を参加者に分かる様に説明し、質問に答えられる様にします。プレゼンテーション能力や自分で考える力を身に付けると共に、扱う題材についての理解を深めます。

成績評価方法：

欠席する毎に減点します。出席状況、学習態度、発表内容などに基づいて総合的に評定します。通年科目と見做して開講する為、半期のみ単位を取得することは出来ません。

テキスト（教科書）：

授業中に資料を配布します。

参考書：

・『日本統計学会公式認定統計検定3級対応データの分析』（日本統計学会 編）東京図書

・『データサイエンス入門』（竹村彰通・姫野哲人・高田聖治 著）学術図書

・『社会調査入門 量的調査と質的調査の活用』（Keith F. Punch 著、川合隆男 監訳）慶應義塾大学出版会

その他、必要に応じて適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

履修希望者は必ず初回（第1週目）の授業に出席して下さい。少人数セミナー故、抽選を行い履修許可者を決めます。例年4～6名程度です。高校数学Ⅰにてデータの分析（資料の整理）を学び、統計学基礎・統計学を履修する前の学習内容である為、新1年生を受講対象とします。2年生以上が受講を希望する場合は事情聴取します。

極僅かではあるがExcelを用いたデータ解析の例を挙げます。理論だけでは空論に成り兼ねず、データを扱うことは重要です。しかし、計算機を利用したシミュレーションに主眼を置いた授業ではありません。数学に興味を持ち、「数

が苦」ではなく「数楽」と思える履修者を歓迎します。

※本セミナーは商学部数理科学プログラム認定科目です。

質問・相談：

授業時間内に受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

聖地巡礼とツーリズム

セット履修

新井 和広

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーでは「聖地」と呼ばれる場所とツーリズムの関係について考えます。両者は一見すると全く関係がないか、相反するもののように考えられるかもしれませんが、歴史的には密接な関係を持ってきました。そして、このテーマは学術研究の対象としても近年注目を集めています。世界的な観光ブームや宗教復興にともなって、今まで注目されてこなかった聖地が再発見されたり、新たな聖地が作られたりしています。担当教員が主な調査地としているインドネシアにおいても、聖者の墓への参詣や聖祭開催が盛んになっています。最近では日本においても映画やドラマのロケ地、アニメの舞台などが「聖地」と認識され、もともとは宗教と何の関係もなかった場所に「巡礼」という現象が現れました。これらの動きは、ツーリズムを通して地方活性化を図る政府や自治体、地元のコミュニティの活動とも連動しています。人はなぜ特定の場所を聖なるものとして認識するのでしょうか。また、特定の宗教と関係がない「聖地」を訪れることは、「俗」な行いなのでしょうか。

本セミナーの目的は、聖地とツーリズムの関係を、今まで書かれてきた資料を通じて学び、考え、自分なりの結論を導き出す訓練をすることです。受講生はそれぞれテーマを選び、それに沿った資料収集、発表、議論を行い、論文を執筆します。その過程で大学での勉強に必要なスキルを身につけていきます。

成績評価方法：

出席状況と口頭発表・議論への参加・論文の内容で評価します。

テキスト（教科書）：

佐藤望編著『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』、第3版、東京：慶應義塾大学出版会、2020年。

ISBN：978-4766426564

岡本亮輔『聖地巡礼——世界遺産からアニメの舞台まで』、中央公論新社、2015年。ISBN：978-4121023063

参考書：

圓田浩二、池田太臣編『ポピュラーカルチャーからはじめるフィールドワーク——レポート・論文を書く人のために』、明石書店、2022年。ISBN：978-4750354644

星野英紀、山中弘、岡本亮輔編『聖地巡礼ツーリズム』、弘文堂、2012年。ISBN：978-4335160714

山田奨治編著『マンガ・アニメで論文・レポートを書く——「好き」を学問にする方法』、ミネルヴァ書房、2017年。

ISBN：978-4623079421

山中弘編『宗教とツーリズム——聖なるものの変容と持続——』、世界思想社、2012年。ISBN：978-4790715658

その他、この種の本はたくさん出版されているので必要に応じて授業で紹介していきます。

担当教員から履修者へのコメント：

資料を集め、読み、考えることの楽しさや厳しさ、知的興奮を味わってほしいと思います。

担当教員の研究テーマのひとつは南アラビア（ハドラマウト地方）とジャワの聖者信仰ですが、本セミナーで学生が取り組む研究テーマは「聖地」とツーリズムに関連するものでしたら自由に選んでくださって結構です。受講生のおかげで現代日本のサブカルチャーも大分勉強させてもらっています。また最近では岐阜県高山市も年に数回訪れているため高山の歴史や観光についても調べ始めています。高山もさまざまな面で聖地になっている場所です。

ここ数年は毎年ほぼ同じタイトルでセミナーを設置していますが、毎年学生がさまざまな聖地を取り上げるので、議論する内容は異なっています。このため教員にとっても毎年新鮮な驚きがあります。学生が実際に取り組んだテーマは宗教関係のものに限らず、アニメ・映画・ドラマなど物語の聖地、建築の聖地、観光開発の結果生まれた聖地、バーチャル空間に存在する聖地、心霊スポット、料理の聖地、ヒップホップの聖地、スポーツスタジアムの聖地、鉄道の聖地、ダークツーリズムなどさまざまなです。学生の中には実際に聖地を訪れて観察を行う人もいます。議論の中で教員もいろいろ学ぶことが多いのもこのセミナーの特徴です。また議論していくと、担当教員の専門分野（イスラーム・地域研究）意外のこだわりもバレるかもしれません。

皆さんは3、4年生になれば専門分野に関する研究を行って論文を書くことになると思います。だから1、2年生の時には専門以外で自分の好きなことで調査を行って論文を書いて欲しいと思っています。セミナーでは自分が好きなことを語ってください。しかし研究テーマの決定や実際のリサーチで何をしたいのか分からない学生も多いので、既存の研究のリーディングにも力を入れたいと思っています。

質問・相談：

質問は基本的に授業後、または事前に予約をとる形で受け付けます。もしリサーチや論文執筆で悩むことがあったらなるべく早く相談してください。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）**総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）**

ハリウッドのシェイクスピア：戯曲と映像表現

セット履修

大矢 玲子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

「ハリウッド最高の売れっ子シナリオライターはシェイクスピアだ」という説があります。2016年に没後400年を迎えた英国ルネサンス期の劇作家ウィリアム・シェイクスピア(1564-1616)の作品は、サイレント時代にすでに600回以上映画化されたのみならず、その後も黒澤明の『蜘蛛巣城』や『乱』、アカデミー賞受賞の『恋に落ちたシェイクスピア』、ディカプリオ主演の『ロミオ+ジュリエット』などに明らかたとおり、世界の著名な映画監督や人気俳優によって映像化され続けています。この授業では、ハリウッド映画を中心に、映画化されたシェイクスピア作品をとりあげ、原作との比較や、映画がつくられた時代背景の分析などをおして、劇の不変の生命力と、無限ともいえる変化の可能性をさぐることを目的とします。シェイクスピアを手がかりとして、受講者たちが総合芸術である映画の魅力にふれる機会となることを願っています。また、宣伝用の予告編やポスターを含めて、制作に巨額が投じられる映画という媒体は、アメリカ型資本主義社会における芸術のありかたを考える、よい手がかりを提供してくれることと思います。

春学期は『ロミオとジュリエット』『じゃじゃ馬慣らし』『リチャード三世』『真夏の夜の夢』など、秋学期には、『ハムレット』『ヘンリー四世、五世』『十二夜』『テンペスト』など、悲劇、喜劇、歴史劇、ロマンス劇に基づく多彩な映画作品に注目し、比較研究する予定です。（取り上げる映画は、受講者の関心によって調整いたします。）

成績評価方法：

授業への積極的な参加を最重要視します。授業のディスカッションでは、自分の意見や感想を、論理的、分析的に話すこと、そしてクラスメートの意見に関心をもち、深く理解することを目標にしてください。各回で取り上げた映画についての授業中の意見発表と、提出されたワークシート、春秋学期にそれぞれ課されるレポートが評価の対象となります。

テキスト（教科書）：

シェイクスピアの作品（さまざまな日本語翻訳があります。英語原典を読みこなすことは、この授業では要求していません。）

『シェイクスピア映画論』ラッセル・ジャクソン編；井上優 他訳 （東京：開文社出版、2004年）

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面実施を基本とします。（公衆衛生等の配慮によりオンライン（オンデマンド形式）に切り替える場合があります＝最大で7回）。なお初回授業は対面です。

受講に際し、シェイクスピアに関する特別な知識は必要ありません。芸術（そして商業芸術）と文学に関心のある学生の履修を歓迎します。受講者は、授業で取り上げる映画についてのDVD（日本語字幕付き）の視聴（各作品2-2.5時間程度）、imdb.com、rottentomatoes.com、allcinema.netを含むインターネットサイトなどを利用して、作品に関する情報を集めることになります。レポートについては、教員に加え、受講生同士のフィードバックも行います。

質問・相談：

質問や相談は教室やメールで随時受け付けます。連絡先は別途KLMSのクラスページに掲載します。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）**総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）**

英語のレトリック・文体論入門

セット履修

小倉 雅明

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

主に18世紀～19世紀頃の英文を精読しながら、英語のレトリック（修辞学）および文体論への導入を図ります。題材となる文章を分析して、その文体的効果やその背後にある語彙・表現などの選択について議論・発表を行います。ことばの使用・意味についてじっくり考える力、さらには議論・発表・資料調査などの基礎的なアカデミックスキルを養うことが目的です。比較的難解な英文を扱いますので、根気強く辞書を引き比べることが苦でないこと、一言一句をおろそかにせず読解に向き合うこと、ある程度英語を読むことができる（あるいは読もうと努力することができる）ことが求められます。なお、授業では主に日本語が使用されます。

成績評価方法：

発表や議論などの授業への取り組み（60%）および課題(40%)で総合的に評価します。

テキスト（教科書）：

資料は授業中に適宜配布します。

参考書：

授業中に適宜指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

発表の仕方を含めた授業の進行方法については受講者の人数や興味関心のありようによって調整される可能性があります。単語一つひとつの正確な意味を求めて複数の辞書を引き比べたり、生成AIの翻訳を修正したりするなど、様々なタスクを用意していますので、そういったことを楽しめる人の受講をお待ちしています。なお、他者と協力しながら

進めることが多いため、毎回出席が原則です。

授業は何回かオンデマンド形式で実施される可能性があります。初回の授業は対面で行います。

質問・相談：

担当者の連絡先は初回の授業で共有します。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

モノから世界を見る：チョコレート

セット履修

川上 英

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーでは、あるひとつのモノに注目して、それがどこで、誰によって、どのように生産され、どのように取引され、どこに運ばれて、誰によって、どのように消費されてきたのかを知ることで、世界のつながりについて歴史的に学び考えます。注目するモノは、砂糖、茶、コショウ、コーヒー、バナナ、チューインガムといった食品から、綿花、石油、ゴム、麻といった産品までさまざまにありえ、それぞれ興味深い世界のつながりが見えてくるはずですが、今年度はチョコレートを取りあげます。

春学期は、テキストとして挙がっている書籍をみんなで読んで議論し、ひたすらチョコレートの歴史と現在について学びます。そして最終的には受講者一人一人に自分なりの「チョコレート論」を小論文としてまとめてもらいますので、秋学期はその小論文の執筆に向けた各自の発表が中心となります。

ひとつのモノから世界のつながりを見る視点を身につけることに加えて、本の読み方と自分の意見のまとめ方、そして文章の書き方を身につけることが、このセミナーの目標です。

成績評価方法：

平常点（出席、発表、討論への参加度）と小論文をもとに総合的に評価します。

テキスト（教科書）：

ソフィー・D・コウ／マイケル・D・コウ『チョコレートの歴史』（河出文庫、2017年）

武田尚子『チョコレートの世界史：近代ヨーロッパが磨き上げた褐色の宝石』（中公新書、2010年）

キャロル・オフ『チョコレートの真実』（英治出版、2007年）

*読む順番や書籍の入手方法については初回のガイダンスで指示します。

参考書：

必要に応じて授業内で指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

チョコレートの歴史にはスペイン語圏が大いに関わっているので、この科目は商学部の「国際教養プログラム（スペイン語圏）」の認定対象科目ですが、スペイン語の知識を履修の条件とはしませんし、他学部や他言語履修者の履修も歓迎します。

質問・相談：

授業前後に直接、またはメールで随時受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

デカルトとスピノザ

セット履修

川添 美央子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

デカルトとスピノザの主要著作の輪読を通じて、近代的な思考様式の成立を学ぶ。デカルトとスピノザは、それぞれの仕方で中世的思考を克服しようとしたり、近代を支える哲学を結果的に構築した点で、共通の土俵に立って共闘したともいえる。しかし、神について、あるいは意志や人格、精神と身体の関係についてなど、根本的に見解を異にしたところも多々ある。近世哲学を代表する二人の哲学者の著作と取り組むことで、近代を支える多様な考え方に触れてもらいたい。

成績評価方法：

提出されたレポート4割、授業のパフォーマンス（発表の充実度や討論への参加）6割の比率を目安に評価する。

テキスト（教科書）：

テキストの入手については初回の時に説明する。今のところ以下の版を使うことを考えている。

デカルト『方法序説』（ちくま学芸文庫）山田弘明訳

デカルト『省察』（ちくま学芸文庫）山田弘明訳

スピノザ『エチカ』上、下（岩波文庫）畠中尚志訳

参考書：

授業において指示する。

質問・相談：

授業の前後またはメールによって受け付ける。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）**総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）**

メディアと世界史の事件とのあいだ—もうひとつのフランス革命前史を例に
セット履修

川村 文重

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

現代のわれわれはめまぐるしい発展を遂げている多様なメディアとともに生きています。現代史をひもとくと、メディアと歴史的事件の間には、メディアが事件を生んだのか、それとも事件がメディアを発達させたのか、鶏と卵の関係のような相即的因果関係のあるケースが見出せるでしょう。また、メディアとわれわれの思考・思想形成にも同様の関係があると言えるかもしれません。このようなメディアの政治的・社会的・知的役割、そこに孕まれた問題や限界、あるいはさらなる可能性を歴史的に考察するために、このセミナーでは、メディア社会の黎明期であるフランス革命前夜にさかのぼります。古典的なメディアとしての「書物」をめぐる18世紀後半のフランスの実態を知ることで、メディア論と社会史の2つの観点から、啓蒙の時代のいわゆる「教科書的な」歴史の表舞台には現れることのない「裏面」をたどります。それによって、この裏面の歴史がいかにしてフランス革命という大事件へといたったのか、文献読解を通して思想的理解を深めることも目指します。

春学期には一冊の歴史書の翻訳を輪読することで、書かれている内容のみならず議論の展開の仕方や表現法に注意を払いながら精読していきます。このテキストの読解を通して芽生えた疑問点をもとにして、秋学期では、各自論文のテーマを絞っていきます。それと並行して、必読文献のリサーチ方法、文献の読み方、分析の方法といった学術調査・研究の基本を実践的に身につけていきます。その後、論文のテーマに関するプレゼンテーションを行い、ディスカッションで得た学びをフィードバックさせ、執筆作業に取り組みます。

成績評価方法：

輪読のレジュメ担当の内容、プレゼンテーションの充実度、ディスカッションへの参加度、論文の内容を総合して評価します。輪読担当・プレゼンテーション担当・論文のいずれかを欠いた学生は単位の取得はできません。

テキスト（教科書）：

『革命前夜の地下出版』ロバート・ダーントン著 関根素子・二宮宏之訳 岩波書店 岩波人文書セレクション 2015年 ISBN：978-4-00-028811-8（入手方法については初回のガイダンスで指示します。）

参考書：

授業中に随時紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

18世紀フランスの啓蒙の時代を深く理解するために、高校の世界史レベルのヨーロッパ史の知識があることを履修者の条件とします。さらに、精読・ディスカッションに積極的に参加するやる気のある学生を歓迎します。

このセミナーは商学部の国際教養プログラム（フランス語圏）の認定科目のひとつですが、他学部生や他言語の履修者も受け入れます。履修を希望する学生は、初回のガイダンスに必ず出席してください。

なお、国際教養プログラムの詳細は以下をご覧ください。

<https://www.students.keio.ac.jp/hy/fbc/class/program/files/programpamphlet2024.pdf>

質問・相談：

授業の前後で受けつけます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）**総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）**

文学のアダプテーション

セット履修

北川 千香子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

本セミナーでは、古今東西の文学作品が、音楽（歌曲、管弦楽）、音楽劇（オペラ、ミュージカル）、映画、造形美術といった異メディアによってどのように受容され、またいかにして原作にはない新たな側面を切り開いているかについて学びます。

授業の目的はまず、文学作品やさまざまな形態の芸術に触れて知見を広げることにあります。そして、今後の専門教育と職業を支える幅広い教養を身に付け、その習得を通して創造的な思考を涵養することを目指します。学生時代に芸術を鑑賞する能力やその方法を身に付けておくことは、社会に出てからも大いに役立つはずです。

授業では、原作であるヨーロッパおよび日本の文学作品（詩、小説、戯曲など）の抜粋を読み、それらを文学作品として味わいます。さらに、アダプテーション（翻案）としての作品を映像や音源を用いて鑑賞し、原作が異メディア受容を通してどのように変容しているかを吟味します。その際には、原作およびそれを受容した作品の時代的・文化的・思想的背景についても講じるほか、アダプテーション、トランスメディアリティ、ポストコロニアリズム、フェミニズムなどの理論も扱います。

文学作品は日本語訳で読みますが、音楽作品への翻案を扱う際には、言葉と音の関係を分析するために原語のテキストを紹介および解説することがあります。

春学期は、具体的なアダプテーション作品の分析と、それに関連する文献の講読を交互に行います。文献講読の回は、毎回担当者が論点の整理、疑問点や問題提起について報告を行い、それをふまえて皆で議論します。これを通して、独

自の考察を展開するための基盤を築くことを目指します。

秋学期は、文学のアダプテーションとして扱う具体的な作品を各自で決め、複数回のプレゼンを行ったうえで、最終的に小論文を作成します。自らテーマを設定し、関連する文献を適切に扱い、論を構築する力を一年間かけて養います。

成績評価方法：

平常点（出席、プレゼンテーション、ディスカッションへの参加姿勢）と小論文をもとに総合的に評価します。

テキスト（教科書）：

教科書は使用しません。

参考書：

- * リンダ・ハッチオン『アダプテーションの理論』晃洋書房、2012
- * 小川公代ほか『文学とアダプテーション——ヨーロッパの文化的変容』春風社、2017
- * 岩田 和男ほか『アダプテーションとは何か』世織書房、2017

その他、授業内で適宜指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

* 予備知識は必要ありません。テーマそのものに関心があり文献を読む意志のある学生、積極的に議論に参加する学生を歓迎します。春学期は輪読を行います。担当者だけでなく履修者全員が該当箇所を事前に読み、意見や疑問点を整理して授業に臨むことが参加の前提です。また、事前準備として原作のあらすじや抜粋を読んでおくことも履修の前提となります。

* 履修希望者が多数となった場合には選抜を行います。また、履修者数や履修者の関心に応じて授業計画を変更する場合があります。履修希望者は必ず初回授業に参加してください。

* この授業は商学部国際教養プログラム（ドイツ語）の認定科目ですが、他学部や他言語履修者の参加も歓迎します。

* 初回授業は対面で行います。

質問・相談：

授業の前後およびメールで受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）

History and International Relations: Examining How Our Culture Shapes Our Understanding of History and the World
セット履修 クラシゲ ジェフリー ヨシオ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Whether the country is the US or Japan, students at the middle school and high school levels are often given a single textbook that provides a narrative description of “history”. As those same individuals reach the university-level, many are struck by the multiplicity of viewpoints and interpretations in the field of history even within a single nation. However, often within a particular country, shared cultural assumptions and biases can cause the breadth of interpretations to be narrowed. For example, in the US, the view of World War II as a “holy war” waged against Fascist powers still holds sway in the minds of many Americans.

Often such cultural assumptions and biases tend to shadow international relations between countries, influencing the behaviors of peoples towards one another long after the principle actors of historic events themselves have passed away. It is only through an honest investigation of these differing cultural assumptions and biases that we can attempt to solve these international frictions, and this course attempts to scrutinize a number of the more controversial historical narratives dealing with imperialism and the Pacific War that still negatively impact US-Japanese relations. It is thus with the hope that by investigating these contentious topics (especially through the lens of the scholarship of “poet” historians like John Dower) the students will be better prepared to interact with foreigners when working in the international community, and thus act as a bridge between the East and the West.

成績評価方法：

Grades will be based upon class participation and the quality of assignments, projects, and presentations. Regular attendance is required.

Course Requirements

Discussion attendance/participation: 40% of the course grade

Bi-Weekly 1 page, DOUBLE SPACED response papers (roughly 225-275 words): 30% (beginning the second week of class)

Oral presentations (1 per semester): 30%

テキスト（教科書）：

We will read, on average, two chapters of a book or two different articles per week. The assigned readings will be available online, FREE in PDF format. There is no single textbook for the class.

参考書：

Students will need a college-level English dictionary in either print or electronic format.

担当教員から履修者へのコメント：

Required Resources: Please make sure to have a working email account (not just an account associated with a keitai cell phone). You will also need access at home to a computer with word processing capabilities.

Feedback: The instructor will write comments on submitted homework. Those comments will both aid in improving writing skills and check on the student's understanding of the topic.

Course Place in the University Curriculum: Beyond preparing students to study abroad or work in the international community, the focus on discussion and Socratic Q&A will sharpen critical thinking skills (a necessity when many students take mainly lecture courses).

General Expectations: This course is ***very demanding***, but I believe that it will help push each of the participants to grow both as scholars and as citizens of the international community. Students are expected to be attentive and contribute to in-class discussions, and express their ideas and opinions in a respectful manner. Classroom discussion of the provided reading materials is a central part of the class. Thus, students must be ready to read, write, and express their opinions each week.

COVID Considerations: Assuming the pandemic conditions and university policies allow it, this class will be "in-person."

質問・相談:

Please feel free to contact me by email (kurashig[at]fbc.keio.ac.jp), but also do not hesitate to approach me before or after class. If I am in my office and the light is on, please feel free to knock as I am always happy to speak with students if time is available.

総合教育セミナーDa (Ⅱ類) 2単位 (春学期)

総合教育セミナーDb (Ⅱ類) 2単位 (秋学期)

中国の思想と宗教

セット履修

酒井 規史

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

- ・セミナー形式で、中国の思想と宗教について学んでいく授業である。具体的には中国で信奉・信仰されてきた儒教・仏教・道教・イスラム教・キリスト教・民間信仰を範囲とする。

- ・授業の進め方であるが、春学期は中国の思想・宗教に関する参考文献の講読を行う。また、講読と並行して、学術的なリサーチの方法・レポートの作成の仕方について指導を行う。

- ※履修者の希望があれば、古典中国語（いわゆる漢文）の原典講読を行う場合もある。

- ・秋学期も文献の購読を進めながら、履修者それぞれが関心のあるテーマを選んでリサーチとプレゼンテーションを行ってもらう。最終的には、ある程度まとまった分量のレポートを作成することをめざす。

成績評価方法:

平常点（講読の分担・レジュメの完成度・プレゼンの内容）と、春・秋の学期末のレポートで総合的に評価する。なお、講読の分担・プレゼンテーションをしなかった場合は大幅な減点となる。また、各学期のレポートを提出しなかった場合、単位の取得は認めない。

テキスト（教科書）:

履修者と相談の上で決定する。

- ※『概説中国思想史』『はじめて学ぶ中国思想 思想家たちとの対話』（ともにミネルヴァ書房）など、少し詳しいの概説書で基礎的な知識をつけたあと、専門的な文献を講読する予定である。もしくは、受講者の興味関心が近い場合は、そのテーマに関する参考文献を講読する場合もある（例えば、諸子百家に関する文献を読む、道教に関する文献を読むなど）。

- ※履修者の希望がある場合、古典中国語（いわゆる漢文）の原典を講読することもある。

参考書:

履修者の希望に沿ったかたちで随時紹介する。

担当教員から履修者へのコメント:

- ・かなりの頻度で講読やプレゼンテーションの担当が回ってくるので、準備をする時間が確保できない場合は履修は勧めない。

- ・講読する文献については、履修者と相談の上で決定する。そのため、各学期の初回および二回目の授業には必ず出席すること。そこで参加していない学生の希望は考慮されないので注意すること。

- ・レポートのテーマについては、履修者の希望や授業の展開に応じて変更する場合もある。

- ・中国の思想や歴史・文化に対する興味を持っている学生、また哲学・思想・宗教一般について関心がある学生の履修を歓迎する。

質問・相談:

授業中、授業の前後、もしくはCanvas LMS経由で受け付ける。

総合教育セミナーDa (Ⅱ類) 2単位 (春学期)

総合教育セミナーDb (Ⅱ類) 2単位 (秋学期)

バイリンガル研究入門

セット履修

佐々木 美帆

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

This course provides students with an opportunity to learn about language acquisition by bilinguals, their use of language skills and bilingual cognition. Through readings and projects, students will develop understanding on how humans acquire language and how bilingual environments affect children's language development and cognition. Based on the readings covering language acquisition, bilingualism/multilingualism and psycholinguistics, we discuss the roles of picture book reading and nursery rhymes in language development, too. The course also introduces academic research skills in Japanese and English. In the spring semester, students are required to write a short review paper on the language related area and in the autumn semester, they are going to collect or observe some language related data and give a presentation then write up an essay as part of their final project.

成績評価方法：

Class participation (30%), Spring-semester project (20%), Autumn-semester project (50%).

テキスト (教科書)：

日本語および英語の資料を配布します。

参考書：

- 『完全改訂版バイリンガル教育の方法：12歳までに親と教師ができること』中島和子 (2016) アルク
『言語が違えば、世界も違って見えるわけ』ガイ・ドイッチャー(2022) 早川書房
『言語の力』ビオリカ・マリアン(2023) KADOKAWA
『バイリンガリズム入門』山本 雅代 (編著)、井狩 幸男、田浦 秀幸、難波 和彦 (著) (2014) 大修館書店
『バイリンガルの世界へようこそ：複数の言語を話すということ』フランソワ・グロジャン (2018) 勁草書房
Baker, C. & Wright, W.E. (2021) *Foundations of Bilingual Education and Bilingualism (7th Edition)*. Multilingual Matters.
Grosjean, F. (2022) *The Mysteries of Bilingualism*. Wiley Blackwell.
Schwieter, J. W. (2023) *The Cognitive Neuroscience of Bilingualism*. Cambridge University Press.
Yi Wang & Li Wei. (2022) *Thinking and Speaking in a Second Language (Elements in Second Language Acquisition)*. Cambridge University Press.

担当教員から履修者へのコメント：

バイリンガルやマルチリンガルといわれる子どもおよび大人がどのように言語を習得・使用しているのかを、主に心理言語学の観点から最近の研究について日本語および英語で読んでいきます。また、データを見て実際に分析・考察していきます。言語全般に興味のある学生、日本語と英語でのアカデミックライティングおよびプレゼンテーションスキルを積極的に身につけたい学生の履修を希望します。

質問・相談：

授業の前後およびメールで随時受け付けます。

総合教育セミナーDa (Ⅱ類) 2単位 (春学期)

総合教育セミナーDb (Ⅱ類) 2単位 (秋学期)

社会言語学

セット履修

佐野 真一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

人間のことばの使い方と社会は密接な関係にある。また、人間が社会生活を営む上で用いる言語表現は画一的ではなく、様々な様相を呈する。例えば、話し相手が誰であるかによって人の言葉遣いは変わる、また出身地や国籍によってもそれは異なる。本コースではこのような言語と社会の関係について具体例の概観を通して学ぶ。目標としては、入門書の講読を通して社会言語学の基礎を身に付けることを主眼に置く。また、言語と社会の研究の意義、及び言語と社会の関係を理解し、社会言語学の知識に基づいて身近な言語現象について客観的に考えることができるようにする。テーマに興味・疑問を持ち、積極的に発言する学生を歓迎する。

成績評価方法：

課題、授業参画、発表 (秋学期)、期末レポート

テキスト (教科書)：

Janet Holmes & Nick Wilson. (2022) *An Introduction to Sociolinguistics (6th Edition)*. Routledge. ISBN: 978-0367421106

参考書：

- Suzanne Romaine. (2001) *Language in Society: An Introduction to Sociolinguistics (2nd Edition)*. Oxford University Press.
 - Lesley Milroy, and Matthew Gordon. (2003) *Sociolinguistics: Method and interpretation*. Blackwell.
 - 『社会言語学入門一生きた言葉のおもしろさにせまる』(改訂新版) 東照二著 研究社 2009年
 - 『はじめて学ぶ社会言語学』日比谷潤子 (編) ミネルヴァ書房 2012年
- その他の文献は授業で紹介する。

担当教員から履修者へのコメント：

- ・リーディングベースの授業であるため、毎回教科書（30ページ程度）を読んでくること。
- ・テキストは英語で書かれているため、英語を読むことに習熟している必要がある。
- ・秋学期には学生による授業担当（発表）も予定している。
- ・春学期・秋学期それぞれについて、4回以上の欠席があった場合は、単位取得の権利を失うので注意されたい。

質問・相談：

Eメール: s-sano@keio.jp

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

The Bible and Its Reception: Examining the Bible and How it is Read Around the World

セット履修

ショート, ジョン ランドル

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

The Bible is one of the most important and influential books around the world. An at-home example of its cultural significance is Keio University's acquisition in 1996 of Asia's only copy of the Gutenberg Bible for several hundred million yen. Countless other examples can be found in highbrow and popular culture, from classical art and music to Hollywood movies and pop songs. Without a doubt, basic knowledge of the Bible and its reception is essential for understanding classical and pop culture, especially in the West. It is also critical, of course, for understanding Jewish and Christian views and beliefs about life and death, work and play, gender and sexuality, justice and mercy, crime and punishment, the individual and the state, and nearly everything else under the sun. In this seminar students will develop a solid understanding of the Jewish and Christian Scriptures themselves, as well as a wide spectrum of interpretations and applications of these texts around the world. In the spring term we will focus mainly on the Old Testament / Tanakh. In the fall term we will turn our focus first towards the New Testament, and then towards the formation and reception of the Bible from ancient times up through the present day. Sessions will include mini-lectures, student presentations, regular discussions, and various other activities. We will conclude each term with paper presentations about problems related to the Bible's interpretation, use, and abuse. By the end of the course, students will have a strong understanding of what the Bible means to diverse communities across time and space, along with the skills to evaluate and articulate how the Bible has influenced artistic expression, moral reasoning, religious belief and practice, and the ways communities have understood their history and identity.

成績評価方法：

Class Participation (34%)

Assignments and Quizzes (33%)

Final Paper and Presentation (33%)

(Unexcused absences, tardiness, and leaving early will result in grade deductions. In principle, more than three absences/tardies will result in failure of the course.)

テキスト（教科書）：

Reading materials will be provided in one or more digital formats or distributed in class. All digital materials will be available for download from K-LMS.

参考書：

References will be selected and shared in accordance with the interests and needs of seminar participants.

担当教員から履修者へのコメント：

We will meet in person for all sessions unless circumstances (e.g., severe weather) require us to meet online.

Whether you have no prior knowledge of the Bible or know it well, I hope you will find this course intellectually stimulating, horizon-expanding, and enjoyable from beginning to end.

Feedback: I will give oral feedback in class when appropriate, and written feedback in response to homework submissions. Do not hesitate to ask for additional feedback at any time.

Course Schedule: Some topics may be changed in accordance with the interests of seminar participants.

On the Use of Generative AI Tools: I will give clear instructions in class about the use of generative AI tools such as ChatGPT. If you ever have any questions or doubts about appropriate use, play it safe and simply ask me about it.

The Course and Diploma Policy/University Curriculum: This course aims for students to gain reliable and useful knowledge about the world, to develop their critical thinking and communication skills, to broaden their perspective for viewing themselves and others with empathy and respect, and to practice self-management and leadership skills in collaboration with the instructor and other participants.

質問・相談：

Please reach out to me if you have any questions or would like to talk with me about anything else. For instance, don't hesitate to ask me about class activities and assignments. You can contact me by email (jrshort[at]keio[dot]jp) or through the K-LMS messaging tool at any time, but also feel free to approach me in person for a quick chat or, or make an appointment for a longer discussion.

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）**総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）**

ドイツ映画を見つめる——映像・音響分析とドイツ社会との関係から

セット履修

白井 史人

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

ドイツ語圏の映画は、二度の世界大戦や東西分断と統一、移民の流入や社会の多様化などの大きな歴史的变化のなかで、フランス、アメリカなど他の地域の映像文化と影響を与え合いながら展開してきました。映像メディアが、さまざまな媒体を通してグローバルに広がる現在、「ドイツ映画」という枠組みから、映画と社会とのどのような関係が見えてくるのでしょうか。またその際の「ドイツ」の拠り所となるのは、「国家」か、「国民」か、「言語」か、あるいは「文化」なのでしょう。

本ゼミナールは、こうした問題意識を出発点に、ドイツ映画を主な対象として、映像文化と社会との相互関係を読み解く力を養います。映画学や音楽学などの研究領域の成果を踏まえ、映像・音響を分析する手法を学びながら、ドイツ社会の変化を踏まえ、具体的な作品を論じる手法を習得することを目指します。

春期は、基礎的な文献（ザビーネ・ハーケ著『ドイツ映画』など）の講読を進めるとともに、教員が指定する映像作品を受講者全員で鑑賞し、分析やディスカッションを行う機会を設けます。

秋期は、外国語文献を含めた研究文献の講読を行い、受講者の関心に沿って具体的な作品を選定し、一定量の小論文をそれぞれの受講者が執筆します。また受講者の関心や人数に合わせて、映画評の執筆や上映会の実施などの実践的な課題を行う予定です。

成績評価方法：

平常点（出席状況、発表、授業への参加度）およびレポートによる評価

テキスト（教科書）：

『ドイツ映画』 ザビーネ・ハーケ著 山本佳樹訳 鳥影社 2010年 ISBN：978-4862652362

参考書：

・授業内で指示する。

担当教員から履修者へのコメント：

ドイツ語や映画に関する経験や知識は前提としませんが、無声映画から実験映画までさまざまなタイプの作品に触れるため、幅広い知的関心を持つ受講者を歓迎します。指定された文献や、映像作品に必ず目を通して各回を受講してください。図書館等での視聴覚資料や配信サービスを利用して、映像作品を視聴する課題を課します。

質問・相談：

授業の際前後、もしくはメール（f.shirai@keio.jp）やK-LMSで随時受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）**総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）**

ビジネスの倫理について考える

セット履修

杉本 俊介

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

※この授業は対面形式です。

本セミナーで扱うテーマはビジネスの倫理です。経営トップの逮捕、過労死や過労自殺の問題、仮想通貨に関する消費者トラブル、内部告発者に対する制裁や報復、今なお多くの子供たちが虐げられている児童労働の問題、など現代はビジネスにも倫理が強く求められる時代です。こうした時代のなかで、倫理学はいかなる意味をもち、役割を担うのでしょうか。

春学期は倫理学、特にビジネス倫理学の基本を楽しく学びます。教科書として、児玉聡『功利主義入門』（ちくま新書、2012年）を使います。担当者が教科書を要約したものを発表し、グループでディスカッションを行います。また、理解を深めるために中間レポート課題を出します。後半では、グループに分かれて、ビジネス倫理学に関連するテーマを選び、そのテーマについて何が問題だと思うか（受講生のレベルに応じてさらに、その問題の解決案）をプレゼンテーションしてもらいます。プレゼンテーションは互いに評価し合い、ブラッシュアップしたもので2回目のプレゼンテーションを行います。

秋学期はみなさん一人ひとりの関心に従ってビジネス倫理学のテーマを選び、研究を行います。研究は孤独になりがちですが、研究の進捗について他の人たちに向けたプレゼンテーションを行い、皆の知恵を出し合って取り組んでいければと思います。研究の成果物としてレポートを作成します。作成したレポートについては相互に講評し合います。

到達目標として次の三点を挙げます。

- （1）ビジネス倫理学の現状と課題を説明することができる（専門知識）。
- （2）何でも根拠を問い、筋を通して議論するスキルを身につける（論理的思考力・コミュニケーション力）。
- （3）自分の考えをプレゼンテーションや論文を通して他の人に示す（実践的技能）。

成績評価方法：

発表とレポートによる評価

テキスト（教科書）：

なし

参考書：

- ・ 兄玉聡『功利主義入門』、ちくま新書、2012年。ISBN：978-4-480-06671-8
 - ・ 高浦康有・藤野真也（編）『理論とケースで学ぶ 企業倫理入門』、白桃書房、2022年。ISBN：9784561257493
- それ以外は授業中に指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

この授業は対面形式を予定しています。ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大や受講生の要望によってはオンライン形式を併用することもありうるので、遠慮せずに相談してください。

メールで随時受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

満洲国文化演習

セット履修

代 珂

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

中国東北地域はかつて「満洲国」と呼ばれていた。総人口約四千万人とされる満洲の地には、数十万の日本人が終戦まで生活していた。本授業では、関連の著作を輪読し、各回の担当者が概要と問題点について発表する。その上で、文学や文化的事象に関する議論を行い、満洲国のみならず、現代社会や文化への理解を深めることを目指す。

成績評価方法：

平常点（プレゼンテーション、議論の参加、授業態度）と春・秋の期末レポートにより評価します。

テキスト（教科書）：

山周吉著『満洲国グランドホテル』芸術新聞社、2022年 ISBN978-4-87586-639-8

参考書：

- 岡田英樹著『文学にみる「満洲国」の位相』研文出版、2000年
- 李相哲著『満洲における日本人経営新聞の歴史』凱風社、2005年
- 山口猛著『幻のキネマ満映 甘粕正彦と活動屋群像』平凡社ライブラリー、2006年
- 山室真一著『キメラ―満洲国の肖像』中央公論新社、2014年
- 代珂著『満洲国のラジオ放送』論創社、2020年
- 塚瀬進著『満洲の日本人』吉川弘文館、2023年

担当教員から履修者へのコメント：

授業はすべて対面で行います。

質問・相談：

授業後に受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

アメリカの社会と文化

セット履修

竹内 美佳子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

アメリカ社会論を読み、超大国の光と影を考察します。春学期は、アメリカ合衆国について社会政治的・文化的視点から総論として学びます。特に、アンドルー・カーネギーやジョン・D・ロックフェラーのような巨大産業資本家の台頭する社会状況に焦点を当てます。秋学期は、アフリカ系アメリカ人の視点から米国社会を捉え、時代を画した演説を通して考察を深めます。履修生の皆さんはテキスト講読と討論から独自の問題意識を発展させ、発表と論文に取り組むことになります。

成績評価方法：

討論・プレゼンテーション・期末レポートに基づく総合評価。

テキスト（教科書）：

- ・ 有賀夏紀『アメリカの20世紀（上・下）』中央公論新社 2002年
ISBN: 978-4-1210-1664-5 / 978-4-1210-1665-2
- ・ 荒このみ編訳『アメリカの黒人演説集』岩波書店 2008年
ISBN: 978-4-00-340261-0
- ・ 配布資料

参考書：

授業内容に即して指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

アメリカについて積極的に学ぶ意欲をもつ学生を歓迎します。

質問・相談：

授業の前後に受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）

漢字・漢文を通して古典中国と日本を考える

セット履修

種村 和史

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

日本人は、中国の古典文化をどのように受容し、何を学び取り、自分たちの財産としてきたのでしょうか。また、学び取ったものをどのように応用し、変容させながら、自分たちの文化を創り上げていったのでしょうか。それを知る鍵が漢字と漢文（漢字によって書かれた古典中国語）です。それでは、漢字と漢文はどのような性格と特徴を持っているのでしょうか。そして、それを日本人はどのようにして受け入れ、また日本文化を表現するためのツールとしていったのでしょうか。本授業では、漢字と漢文の特徴、そして日本人の関わり合い方の歴史やその影響などを多角的に考えていきます。

授業は論文や書籍などを教材にして、内容を批評的に読解し議論していきながら、漢字や漢文についての基本的な知識を学習します。あわせて、昔の日本人が漢字や漢文を受容したその方法を実際に用いて中国古典を読解する訓練をします。漢字と漢文が日本人にとってどういう存在であったのかを追体験することが目的です。

これらの作業を通して、漢字と漢文、および日本文化との関係についての問題を自分自身で発見してもらいます。それを学問的方法・手続を用いて考察し、口頭発表と議論によって認識を深めていきます。最終的には論文としてまとめることを目標とします。

授業テーマについての知識を獲得することの他、学術文献に対するクリティカル・リーディングの能力、問題を発見する能力、問題を学問的方法によって研究し口頭および論文で発表する能力を養うことが本授業の目的です。

成績評価方法：

本科目は通年科目であるので、成績も通年で評価する。

平常点・プレゼンテーション・論文を総合して評価する

テキスト（教科書）：

テキストは授業時に指示する。また必要に応じて教員が作成した資料を用いる。

参考書：

『アカデミック・スキルズ（第3版）——大学生のための知的技法入門』（佐藤 望 編著、慶應義塾大学出版会、2020、ISBN：978-4-7664-2656-4）

担当教員から履修者へのコメント：

授業はすべて対面授業で行います。（社会状況により対面授業が困難になった場合は、別途連絡します）

K-LMSにて諸連絡、教材配布を行いますので、こまめに確認してください。

質問・相談：

授業時およびK-LMSにて受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）

現代中国と日中関係

セット履修

段 瑞聡

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーは、春学期は現代中国に関する本を輪読し、中国の政治と社会の現状と課題について検討する予定です。秋学期は中国外交と日中関係に関する本を輪読し、日中間の諸問題について議論をすることによって、相互理解を深めていきたいです。

成績評価方法：

春学期期末と秋学期期末にそれぞれレポートを提出してもらい、出席状況および授業態度などを加味して評価します。

テキスト（教科書）：

高橋伸夫『中国共産党の歴史』慶應義塾大学出版会、2021年。ISBN978-4-7664-2754-7

高原明生／園田茂人／丸川知雄／川島真編『日中関係2001-2022』東京大学出版会、2023年。ISBN978-4-13023081-0

参考書：

家近亮子・松田康博・段瑞聡編著『改訂版 岐路に立つ日中関係』晃洋書房、2012年。

国分良成・添谷芳秀・高原明生・川島真著『日中関係史』有斐閣、2013年。

川島真・小嶋華津子編著『よくわかる現代中国政治』ミネルヴァ書房、2020年

石川禎浩『中国共産党、その百年』筑摩書房、2021年。

毛里和子『現代中国 内政と外交』名古屋大学出版会、2021年。

三船恵美『米中覇権競争と日本』勁草書房、2021年。

佐橋亮『米中対立』中央公論新社、2021年。

段瑞聡『蒋介石の戦時外交と戦後構想1941－1971年』慶應義塾大学出版会、2021年。

川島真・小嶋華津子編『習近平の中国』東京大学出版会、2022年。

李昊『派閥の中国政治』名古屋大学出版会、2023年。

段瑞聡編著『現代中国の国家形成』慶應義塾大学出版会、2024年。

周俊『中国共産党の神経系』名古屋大学出版会、2024年。

担当教員から履修者へのコメント：

単なる単位取得のためのセミナーではないので、積極的な参加が望まれます。現代中国および日中関係関連の他の講義の聴講がより望ましいです。

授業はすべて対面で実施します。

質問・相談：

授業の前後、受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

Growing Up in Japan and Elsewhere: Comparative Perspectives on Childhood In an Era of Globalization

セット履修

林 安希子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

This seminar aims to explore cultural variations in how children are growing up, being reared, and educated in an era of globalization and internationalization.

The seminar looks at childhood, parenting, and early childhood education from various disciplinary perspectives including anthropology, comparative/international education, cultural psychology, and developmental psychology. We will look at studies of childhood in Japan, and of Japan in comparison with other countries undergoing similar contemporary dynamics, including the global exchange of ideas, policies, popular culture, and people (both immigrants and transnational sojourners).

Topics we will deal with include processes enculturation and socialization, immigrant children, bilingual education, and comparative studies of early childhood education approaches.

The goal of this seminar is to develop students' knowledge of various disciplinary perspectives on the intersection of culture and childhood and of contemporary social trends including changing demographics, globalization, and internationalization are impacting childhood in Japan and in other countries.

This seminar is designed for students to come to understand the intersection of culture and childhood through collaborative, collective experience. I therefore expect and value participation in class discussions and activities.

成績評価方法：

Class Participation (60%)

Class Presentation (20%)

Final Paper (20%)

テキスト（教科書）：

There is no required textbook.

参考書：

All readings will be available for downloading on the website (some sort of online/web based material).

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面実施を基本とし、オンライン（オンデマンド形式）による授業は5回程度の予定です。なお初回授業は対面です。

質問・相談：

Before / after class with an appointment, or by e-mail

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

きものを作ろうー近代と前近代の衣服

セット履修

原 大地

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーの根本的な興味は、我々の衣料を通して、近代とそれ以前の時代の文化・社会を理解することです。そのために、通年で（１）きものの製作、（２）グループによる論文執筆を同時並行で行います。

西洋近代という時代が産業革命とともに始まったこと、そして産業革命の先鞭をつけたのが繊維業であることは誰もが知っています。しかし、工業化と商業化によって我々の衣生活がどう変化したのか、その具体的な様相はあまり知られていないように思います。19世紀から20世紀にかけての西洋の人々、あるいは同じ時代の日本の人々が何を着ていたのか。そしてそれが文化・社会の全般的な状況とどのような関係を結んでいたのか。それを考えるきっかけを得るために、この授業では、近代以前の衣服である日本の「きもの」を製作します。現在のように、完成した服を買ってくるのが衣類を手に入れるほぼ唯一の方法になったのは、それほど古いことではありません。一般の家庭で行われていた

「衣服を作る」という営みを、実際に手を動かして体験することは、単に日本の文化伝統を継承するというだけにとどまらず、さまざまな知的刺激を与えてくれるでしょう。担当する教員は決して縫製の専門家ではありませんが、専門性が欠如していることこそ、前近代の衣服の特徴のほうですから、あえて蛮勇をふるってこれに挑むものです。

さらに、この授業も大学での研究・教育の一環ですから、体験したことを思考し、言語化する必要があります。文献を中心にアカデミックな調査をし、プレゼンテーションを通じて議論を共有した上で、最終的には、一つのテーマについて数人で論集を作ることを目標としましょう。テーマはさまざまに考えられますが、たとえば、きものということから出発して、西洋近代のジャポニスムのような文化現象を考察してみても面白いと思います。

成績評価方法：

授業への貢献と最終論文の評価を総合的に評価します。

テキスト（教科書）：

授業中に指示します。

参考書：

授業中に指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

好奇心と探究心をもつ学生の履修を歓迎します。履修希望者は初回のガイダンスに必ず出席してください。

質問・相談：

授業後に受けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

ことばの意味と使用

セット履修

平山 仁美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

私たち人間が言語を使う中で「意味」を理解するというのはコミュニケーションの最も大事な要素の一つを占めています。しかし「意味」とはそもそも何なのでしょう。そして「意味」さえ理解できれば私たちは問題なく他の人とコミュニケーションができるのでしょうか。このセミナーでは言語学の一分野である「意味論」と「語用論」に触れることで、これらの疑問への答えを見つけながら、議論を進めていく手法を学ぶことを目標にします。また、普段自らが使っている言語を客観的に観察・分析することができるようになる能力を身につけることや、ミスコミュニケーションの原因を想像できるようになることも目標としています。

主に英語で書かれた文献を読んでいくので、英語を正確に読む力をつけたい方も歓迎します。

成績評価方法：

授業への参加、演習問題の内容、レポートなどセミナー全体の参加度を総合的に用いて評価します。

テキスト（教科書）：

授業中に指示・また資料を配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業は基本的に対面で実施する予定ですが、状況によってオンライン（オンデマンド形式）に切り替えます。初回授業は対面で行います。

英語で書かれた資料を多く使うので（授業や議論は日本語で行います）、英語を読むことに抵抗がない方・英語を読むのは大変だけれど1年で抵抗をなくせるように努力したい方を歓迎します。

質問・相談：

随時受け付けます。連絡方法は初回の授業でお伝えします。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

国内外の多言語教育を考える

セット履修

廣瀬 瞳

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーでは、日本及び世界における多言語使用状況や多言語教育について考えます。

授業では、教科書を読みながら関連テーマについて学び、ディスカッションを行います。

また、受講者は自身の関心のあるテーマについて発表を行い、レポートを作成します。

一年を通して、本を読んで考える力や、プレゼンテーションの仕方、レポート・論文などの文章の書き方を身につけることが本セミナーの目標です。

成績評価方法：

（1）平常点（出席状況およびディスカッションの参加などの授業態度） 40%

（2）発表 30%

（3）期末レポート（論文） 30%

テキスト（教科書）：

（１）『多言語主義社会に向けて』平高史也/木村護郎クリストフ(編) くろしお出版 ISBN：978-4-87424-740-2 C1087

（２）担当教員による配布資料

※読む順番や書籍の入手方法については初回の授業で説明します。履修が確定するまで教科書は購入しないでください。

参考書：

授業内で指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

*履修を希望する学生は初回の授業に必ず出席してください。

*履修希望者が多数の場合は抽選になります。

質問・相談：

授業の前後に直接、もしくは K-LMS のメッセージングツールより随時受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

日本・スペイン交流史

セット履修

松田 健児

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

【この授業は「国際教養プログラム（スペイン語圏）」の対象科目です】

このセミナーでは、春学期に日本とスペインの交流史に関する概説書を精読したうえで、秋学期はそれぞれの関心に沿ってテーマを選択し、レポートを書き上げることを目標にします。

一年を通じて、論文や学術書の読み方、レジュメの書き方、プレゼンテーションの仕方や論文の書き方の基本を身につけることを目標とします。

成績評価方法：

平常点（出席、発表、ディスカッション）とレポートで評価。最低2回の発表、担当したテーマに関するレポートの提出を義務とします。レポートの分量は400字×5枚×2回＝4000字（春期）、400字×20枚×1回＝8000字（秋期）以上です。

テキスト（教科書）：

授業内で指示します。

参考書：

授業内で指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業では積極的な参加を求めます。対象となる学生はスペイン語履修者を想定していますが、他言語の履修生も履修可とします。

やむを得ない事情を除いて欠席は厳禁です。履修を希望する学生は初回のガイダンスに必ず出席してください。

質問・相談：

メール（kenjimatsuda@keio.jp）にて随時受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

フランス史をひもとく

セット履修

御園 敬介

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

はじめてフランスの歴史を学ぶ人のためのセミナーです。

春学期にはテキストの輪読をおこない、中世から現代にいたるフランスの通史を学びながら、それと不可分に結びついたさまざまな文化的事象を概観します。授業はレジュメの発表と議論を軸に進みますので、テキストの内容はもちろんですが、自分がそれをどう読んだかという点がとくに重視されます。その過程でフランス史とフランス文化にまつわる基礎的な知見を得ることができるでしょう。

秋学期には、テキストの記述から一歩踏み出して、フランス史の深層に触れる議論を自分で組み立てることになります。具体的には、輪読の過程で出会ったさまざまなトピックのなかからひとつを選び、それを掘り下げたかたちで論文を執筆します。主題の選定から立論の仕方まで、かなり主体性が求められる作業になりますが、それを通して学術的な考え方や書き方を学ぶことを目指します。

成績評価方法：

平常点（授業参加の度合い、課題の質）と論文から総合的に評価します。

無断欠席者は成績評価の対象から外れます。

テキスト（教科書）：

上垣豊編著『はじめて学フランスの歴史と文化』ミネルヴァ書房、2020年 ISBN：9784623087785

担当教員から履修者へのコメント：

・前提知識は問いません。フランスの歴史を学んでみたいという意欲をもった学生の履修を歓迎します。

・少人数の演習形式の授業です。毎回予習をして授業に臨み、積極的に発言することが求められます。

質問・相談：

授業の前後に受けつけます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

Psychology in Business

セット履修

森吉 直子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

The main objective of this course is to learn about human mechanisms that may influence the activities that take place in business contexts. There are multiple factors that affect consumer behavior. The focus will be on consumer psychology and how it influences purchasing behavior. Students are expected to learn psychology related to marketing, consumer behavior, and other business issues. Students must be actively involved in both in-class and outside-class activities. In order to enhance their understanding and application of knowledge, students will be required to engage in academic library research (in English). An information literacy seminar will be offered to students who are not well-versed in library research. All class activities will be conducted in English. Students with intermediate or higher levels of English proficiency and who are willing to commit their time and efforts to coursework are welcome.

成績評価方法：

Evaluation will be based on attendance, class participation, presentations, written assignment (papers), and exams.

テキスト（教科書）：

Will be announced

参考書：

Will be announced

担当教員から履修者へのコメント：

Active participation is crucial. Students who are highly motivated are welcome as this course is time- and energy-consuming. The course is intended for students who are at the intermediate or higher level of English and those who plan to take GPP courses at Mita. The course content and schedule are subject to change.

【The teaching method of classes is based on face-to-face instruction. In some cases, we may meet online. The initial class is conducted in person. Moving online is possible if the coronavirus situation worsens.】

質問・相談：

When students have questions, they can contact the instructor after class or by appointments.

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

BRICS、新興国、グローバルサウスの批判的考察

セット履修

安井 伸

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

2001年に当時経済成長著しい新興国4国の頭文字から命名された BRICs は、南アフリカを加えた BRICS として首脳会議の開催や新開発銀行の創設などを通じて国際的プレゼンスを高めてきた。BRICS に対しては、国際社会の多様化と平等化に資するとの見方がある反面、空虚で実態がないとか、中国の国際戦略の道具に過ぎないなどの批判があるのも確かである。この授業では、2024年に新たに4か国を加え9か国となった拡大 BRICS を中心に、新興国やグローバルサウスと呼ばれる国・地域の諸問題を批判的に考察することを目指す。その際、なぜ従来の「途上国」や「第3世界」という用語ではなく、「新興国」や「グローバルサウス」という新しい用語が使われるようになったのか、その背景や必然性についても問うて行きたい。

春学期は、オックスフォード大学出版会の A Very Short Introduction シリーズの The BRICS（120頁程度の英文）を全員で輪読する。輪読を通じて、問題意識を共有するとともに、レジュメの作成と報告、その後の質疑応答を通じて、基礎的なアカデミックスキルの習得を目指す。履修者は、春学期の内に各自関心のあるテーマを選択し、夏季休暇中にそのテーマに関する主要な文献を読み込み、ブックレポート（書評）を作成する。

秋学期にはブックレポートの発表、さらなる資料・文献の収集・読み込みを進め、三田祭期間を目途に最初のレポートを作成する。その後各自研究成果を報告し、学生および教員のコメントを参考に、レポートを修正・加筆し、セミナー論文を完成、最終的に論文集としてまとめる。

担当教員は一年間を通じ、適宜、レジュメの作り方、効果的なプレゼンテーションの方法、アカデミックな論文作法の基本（テーマ設定、資料の検索・収集、文章構成、注の付け方等）につき指導を行う。履修者の人数によっては、希望によりグループワークも取り入れたい。

成績評価方法：

秋学期に提出するレポート、それを修正・加筆したセミナー論文の提出が、成績評価の要件である。その他口頭発表、授業・討論への参加も考慮して総合的に評価する。

テキスト（教科書）：

Andrew F. Cooper. *The BRICS: A Very Short Introduction*. Oxford University Press, 2016, ISBN:978-0-19-872339-4（教科書は開講後にまとめて入手する予定なので、予め購入する必要はない）

参考書：

恒川恵一『新興国は世界を変えるか—29か国の経済・民主化・軍事行動』中公新書2734、2023年、ISBN: 978-4121027344

その他、授業時に紹介する。

担当教員から履修者へのコメント：

担当教員の専門は、ラテンアメリカ政治・現代史です。「途上国」一般に関心のある受講生、また、英語やスペイン語等の外国語文献に取り組む意欲のある受講生を歓迎します。

質問・相談：

随時対応する（詳細は授業時に説明する）。メールでの質問・相談は、yasshin@keio.jp まで。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

異文化間トレーニング

セット履修

吉田 友子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

異なる文化の人々とのコミュニケーションの際、言葉が通じても文化の差による勘違いや摩擦が起きることが多々ある。逆にその勘違いや摩擦から得るものも大きい。この授業では英語でのレクチャー、ディスカッション、ケーススタディーの分析やシミュレーション等を通して、異文化接触を体験的に学んでもらう。授業はすべて英語で行われ、学生の積極的な参加を求む。授業課題や資料は全てグーグルクラスルーム経由で配布される。また、授業は基本的に対面式でおこないます。もし、緊急でオンラインに変更される場合はグーグルクラスルーム経由でアナウンスいたします。

成績評価方法：

参加（25%）、宿題（25%）、プロジェクト（25%）、試験（25%）

テキスト（教科書）：

プリントは Google Classroom 経由で配付する。

参考書：

(ア)『異文化トレーニング：ボーダレス社会を生きる』

八代京子・町恵理子・小池浩子・吉田友子著 三修社出版 2009年

ISBN-10: 4384012438 ISBN-13: 978-4384012439

(イ)『Intercultural Communication Training: An Introduction』

By: Richard Brislin & Tomoko Yoshida Sage Publications. 1994.

ISBN-10: 0803950756 ISBN-13: 978-0803950757

担当教員から履修者へのコメント：

意欲さえあれば、英語のレベルに自信の無い学生も大歓迎です。

この授業は全て教室で行うつもりです。緊急事態宣言などでキャンパスに入ることが出来なくなったらZoomに移る可能性もあります。

質問・相談：

授業中もしくは終了後に受けます。どんどん聞いてください。メールでの質問は：

tomokoyoshida414アット gmail.com までお願いします。

総合教育セミナーDa（Ⅲ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅲ類） 2単位（秋学期）

都市の歴史と文化を語る

セット履修

市川 佳世子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

世界中の古今の都市にはそれぞれに固有な歴史と文化があります。このセミナーでは、身近な都市の文化に触れ、文化が社会において歴史的にどのような機能や役割を果たしてきたのかについて関心と理解を深め、その魅力を国際的に発信することの意義を考えます。今年度は主に慶應義塾の文化資源と港区の現代アートを取り上げ、教室での講義と演習に加えて、実際にモノを見に街中や文化機関を訪ねる予定です。授業ではモノを見る体験をふりかえりながら自分の関心軸を定め、調査した内容について考察を加え、その内容を発表して文章にまとめる「アカデミック・スキルズ」を段階的に実践します。各学期末には、講義や演習から得た知識や視点をもとに、自分で選んだモノについて調べた内容を発表してレポートにまとめてもらいます。

成績評価方法：

平常点（出席、演習課題への取り組み状況等）（30%）、プレゼンテーション（30%）、レポート（40%）による総合的な評価

テキスト（教科書）：

特に購入すべき図書としての教科書は指定しないが、演習に必要な課題図書を授業中に指示する。

参考書：

『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門』第3版 佐藤望ほか著 慶應義塾大学出版会 2020年
ISBN：9784766426564

『ARTEFACT 02 特集：インターンシップ』『都市のカルチュラル・ナラティブ』プロジェクト（本間友・市川佳世子・松谷美美）編 慶應義塾大学アート・センター 2019年3月25日

その他、随時紹介する。

担当教員から履修者へのコメント：

1. 授業は初回から全て教室にて対面で行います。
2. 調べ物や読書等の事前準備をしたうえで出席し、授業内での積極的な発言や参加を心がけてください。
3. 講義をはじめ、授業は基本的に日本語で進行しますが、参加者がより自信のある方の言語（日本語か英語）を選んで発言・執筆することを認めます。
4. 発表に関してはその場で他の参加者からのピアフィードバックと教員からのフィードバックを行います。レポートはフィードバックとともに返却します。
5. 毎回出席することを原則とします。各学期とも欠席が4回以上の者は成績評価対象外です。大幅な遅刻や早退も欠席とみなします。発表担当の日の欠席・遅刻は厳禁です。やむを得ない事情で欠席する場合は必ず事前に連絡して相談すること。

質問・相談：

授業前後に受け付けます。また、メール（k.ichikawa@keio.jp）にて随時受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅲ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅲ類）2単位（秋学期）

地域との対話

セット履修

牛島 利明

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

[テーマ] 大学生と地域の新しい関係を生産する

この科目は、地域の抱えるさまざまな問題（商店街の活性化、地域コミュニティのあり方など）をテーマとして、現状分析による問題発見、解決策の立案とその実験というプロセスを経験してもらうことを目標とするフィールドワーク型授業です。

コロナ禍での経験から、サークルなどの課外活動や友人関係、アルバイト、キャンパス近隣や居住地での生活（飲食店・商業施設の利用や地域コミュニティとの関わり）など、学生生活における学業以外の側面の重要性がよりはっきりと明らかになりました。

この授業では、近年の社会状況の変化を踏まえつつ、学生や若手社会人世代にとって暮らしやすい地域、様々な人とつながることができる地域、親しみやすい商店街とはどのようなものか、といった視点で衣食住などの日常生活に根差した問題を発見し、その問題を解決するための方策を立案・実験することを目指します。

[授業の内容]

<問題の発見：学生にとって安心で充実した生活が送れる地域とは>

履修者間のディスカッションやインタビュー、アンケート調査の実施などを通じて問題を明らかにする。

<解決策の立案>

行政や地域住民等による取り組みについて調べ、何がうまくいった何がうまくいかなかったのかを明らかにする。その上で、新しい解決策を立案する。

<解決策の実験>

立案した解決策を自分たちで実験し、その結果を評価し、レポートとしてまとめる。

（参考）2021～2024年度に取り組んだ実験企画例

- ・モトスミ・オズ通り商店街、日吉商店街と連携したフードドライブ活動
- ・地域の小学生を対象としたフードロスについて学ぶワークショップの開催
- ・生協食堂のフードロス対策メニュー開発とPR
- ・「モノの循環」について学ぶキッズフリマの開催
- ・地域の小学生を対象としたエシカルファッションについて学ぶ藍染めワークショップの開催
- ・商店街の飲食店めぐりキャンペーンの企画
- ・地域の小学生を対象としたブックキャラバンの開催（塾生会議との連携で開催）
- ・学生・地域住民のコミュニティづくりのためのゴミ拾い活動
- ・一人暮らしの大学生向け地域情報マップの作成
- ・大学生と高齢者の交流イベント企画
- ・日本での生活に不慣れな留学生への飲食店情報の提供と交流を促進する活動
- ・地方在住中学生対象のオンライン版キャリアワークショップ
- ・「起業と地方のライフスタイル」をテーマにした講演会の企画

[授業の方法]

授業は対面で行い、グループワーク主体で進めます。

なお、履修希望者が多い場合には初回授業で簡単なエントリーシートを提出してもらい、履修許可者を決定する予定です。エントリーシートの書式、および授業の最新情報は以下のサイトを参照してください。

<https://site-819122-6080-741.mystrikingly.com/>

成績評価方法：

レポートによる評価（年度末にグループ毎に報告書を作成）

平常点（授業内プレゼンテーション、およびディスカッションやグループワークへの参加程度による評価）

テキスト（教科書）：

なし。必要な文献は適宜授業で指示します。

参考書：

『ソーシャルデザイン実践ガイドー地域の課題を解決する7つのステップ』 寛裕介著 英治出版 2013年

ISBN: 978-4862761491

『フィールドワーク書を持って街へ出よう（増訂版）』 佐藤郁哉著 新曜社 2006年 ISBN:978-4-7885-1030-2

『自分の答えのつくりかた—INDEPENDENT MIND』 渡辺健介著 ダイアモンド社 2009年

ISBN: 978-4-4780-0613-9

担当教員から履修者へのコメント：

この科目の性格上、授業時間外の学習・活動にも主体的・積極的に取り組む必要があります。また、学外の方の協力を得て行う活動もあり得ますので、年間を通じ、責任感を持って活動を行うことができる皆さんの参加を期待しています。

質問・相談：

授業終了後に受け付けるほか、履修者 LINE グループなどで随時行ないます。

メールで連絡したい場合には以下のアドレスまでお願いします。

ushijima@kcio.jp

総合教育セミナーDa（Ⅲ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅲ類） 2単位（秋学期）

食について考える

セット履修

伏見 岳志

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

みなさんは、食べることに関心があると思います。私たちと関わりの深い食にまつわるトピックを、みなさんと一緒に考えていくのが、この授業です。トピックは、参加者のみなさんと相談しながら考えますが、具体例としては、食育、フードツーリズム、スローフード、各地の伝統食、地産地消、飢餓、代替肉、などのテーマがあげられます。

春学期は、上記のうちいくつかのトピックについて、その関連文献の購読や情報収集、ディスカッションをおこない、グループ発表をおこないます。この作業を通じて、読書力・情報収集力・発表力を養成します。

秋学期は、春学期の内容を拡大させて、食をめぐる問題のひとつを取り上げて、論文にまとめたうえで口頭発表をおこないます。この作業を通じて、調査力・議論力・文章力の向上をはかります。

担当教員の専門は歴史学ですが、とくに歴史的な観点にはこだわりません。現代的な視点、未来志向の調査も大歓迎です。

成績評価方法：

①提出課題（読書や調査報告、論文など）②授業内課題（発表、グループ討議、ディベート）③欠席や遅刻などは減点。無断欠席は1回につき成績を1段階下げます。無断遅刻も大幅に減点します。

テキスト（教科書）：

授業内で扱うトピックは、春学期の最初にみなさんの意見を聞いて決めます。その時に使うテキストも決定します。

参考書：

授業内で、適宜指示をします。

担当教員から履修者へのコメント：

読解力、情報収集力、ディスカッション力、プレゼンテーション力、文章執筆力などのスキルを総合的にのばしたい人にお勧めです。課題を期日内に提出すること、授業への積極的な参加が求められます。

質問・相談：

質問・相談方法については、授業内で指示します。

総合教育セミナー S (I 類) 2 単位 (春学期)

自然数と整数の基本的性質

白旗 優

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーは、自然数と整数の基本的性質を証明することを通じて、履修者の数学的能力を育むことを目的とします。自然数と整数には、小学校での算数からずっと馴染んできたはずですが、曖昧な理解のまま過ごしてきた学生も多いのではないのでしょうか。最も基本的な法則と定義から出発して、どのようにして様々な基本的性質が導かれるのかを、ぜひ体感してください。参加する学生には、課題とされた問題の解答を書き上げ、それを授業時に発表してもらいます。解答は、十分なレベルに達するまで、何度でも書き直しを求めます。時間に余裕があれば、RSA 暗号にも触れたいと思います。

成績評価方法：

課題をどれだけクリアできたか、および授業時での発表と、議論への参加度によって評価します。

テキスト (教科書)：

授業時にテキストと課題を配布します。

参考書：

必要に応じて授業時に指定します。

担当教員から履修者へのコメント：

この授業では、特別な予備知識を必要としませんが、基本的な概念を理解して証明が書けるようになる、というのが目的ですので、数学的・論理的な訓練を受ける意思がない人は、受講しないでください。

※本セミナーは商学部での数理科学プログラム認定科目の一つとなっています。

質問・相談：

授業時に受け付けます。

総合教育セミナー S (I 類) 2 単位 (秋学期)

集合・関係・関数

白旗 優

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

数学では、直観的な理解を正確な言葉で表現し、論理的に考察することがとても大切になります。現代の数学では、集合論がそうした言葉を提供しています。このセミナーでは、特に関数が集合を使ってどのように表現されるかを学び、微積分と線形代数で登場する関数を例にして、その正確な取り扱い方を習得していきます。参加する学生には、課題とされた問題の解答を書き上げ、それを授業時に発表してもらいます。解答は、十分なレベルに達するまで、何度でも書き直しを求めます。

成績評価方法：

課題をどれだけクリアできたか、および授業時での発表と、議論への参加度によって評価します。

テキスト (教科書)：

授業時にテキストと課題を配布します。

参考書：

必要に応じて授業時に指定します。

担当教員から履修者へのコメント：

この授業では、特別な予備知識を必要としませんが、微積分と線形代数が既習である必要はありません。しかしながら、数学的な論述がきちんとできるようになる、というのが目的ですので、数学的・論理的な訓練を受ける意思がない人は、受講しないでください。

※本セミナーは商学部での数理科学プログラム認定科目の一つとなっています。

質問・相談：

授業時に受け付けます。

総合教育セミナー S (I 類) 2 単位 (春学期)

科学的根拠のあるストレス解消法を見つけてみよう

関井 清乃

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、自然科学的なアプローチを身につけることを目的としています。テーマは何でもよいのですが、今年は「科学的根拠のあるストレス解消法を見つけてみよう」にしてみようと思います。

ストレスの多い現代社会。普段何となく実践しているストレス解消法、どんなものがあるのでしょうか。まずは(1) みんなで様々なストレス解消法のアイデアを出し合ってもらいます (ブレインストーミング)。そしてそれらのうち、科学的にきちんと効果が証明されているものはどれくらいあるかを、(2) 文献調査によって調べます。そして(3) 自分

の興味のある論文をひとつ選んで読んでもらい、(4) みんなの前で発表してもらうことで、情報共有を行います。ブレインストーミングで出たストレス解消法のうち、まだ世の中に論文として発表されていないものがあれば、その効果を確かめてみましょう。各自、(5) 好きなものを選び、(6) 簡単な実験をおこなって、(7) データをまとめ、(8) その効果を検証してもらいます。そしてこれらの一連のプロセスを(9) 科学論文の形式に則った報告書としてまとめてもらいます。

大学は、まだ誰も知らない新たな知識を探求する場です。テーマこそ「ストレス解消法」ですが、(1)-(9) のプロセスは、みなさんが専門分野に進み、卒業研究などで何か新しいことを研究するときに、文系・理系を問わず必要とされるスキルです。簡単なようで、慣れないうちは難しいです。どのようなテーマを選べば良いか？ 仮説を適切に検証できる実験デザインは？ 結論は論理的に導かれているか？ 内容を人にわかりやすく伝えられているか？ 日吉キャンパスに通っている間に（卒業研究に追われる＆ストレスを抱える前に）、これらのプロセスを経験してみませんか。

また、実際に自分で経験してみると、「科学的な根拠」というものの理解が深まるかと思えます。世の中には、科学的な証拠が得られたように見えて正しくなかった場合もあれば、まだ科学的な証拠が得られていないけれど正しいかもしれないことがたくさんあります。世の中にあふれる情報に惑わされずに、「科学的な根拠」を求めつつもそれを絶対視することなく、また「科学的な根拠」がないからといって問題を軽視することなく、ものごとを論理的・批判的に考える能力を養ってもらいたいと思っています。

成績評価方法：

出席、意欲（授業中の態度と質疑応答への参加度）、成果（プレゼンテーションと報告書の質）で評価します。

テキスト（教科書）：

特にありません。

参考書：

特にありません。

担当教員から履修者へのコメント：

- 授業はすべて対面で実施します。
- ノートパソコンを毎回持ってきてください。
- 履修希望者が多い場合は初回の授業で選抜を行います。
- 積極的に授業に参加する意欲のある学生を歓迎します。

質問・相談：

随時受け付けます。

メールアドレスは kiyono.sekii@keio.jp

総合教育セミナー S（I 類）2 単位（秋学期）

科学的根拠のあるストレス解消法を見つけてみよう

関井 清乃

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、自然科学的なアプローチを身につけることを目的としています。テーマは何でもよいのですが、今年は「科学的根拠のあるストレス解消法を見つけてみよう」にしてみようと思います。

ストレスの多い現代社会。普段何となく実践しているストレス解消法、どんなものがあるでしょうか。まずは(1) みんなで様々なストレス解消法のアイデアを出し合ってもらいます（ブレインストーミング）。そしてそれらのうち、科学的にきちんと効果が証明されているものはどれくらいあるかを、(2) 文献調査によって調べます。そして(3) 自分の興味のある論文をひとつ選んで読んでもらい、(4) みんなの前で発表してもらうことで、情報共有を行います。ブレインストーミングで出たストレス解消法のうち、まだ世の中に論文として発表されていないものがあれば、その効果を確かめてみましょう。各自、(5) 好きなものを選び、(6) 簡単な実験をおこなって、(7) データをまとめ、(8) その効果を検証してもらいます。そしてこれらの一連のプロセスを(9) 科学論文の形式に則った報告書としてまとめてもらいます。

大学は、まだ誰も知らない新たな知識を探求する場です。テーマこそ「ストレス解消法」ですが、(1)-(9) のプロセスは、みなさんが専門分野に進み、卒業研究などで何か新しいことを研究するときに、文系・理系を問わず必要とされるスキルです。簡単なようで、慣れないうちは難しいです。どのようなテーマを選べば良いか？ 仮説を適切に検証できる実験デザインは？ 結論は論理的に導かれているか？ 内容を人にわかりやすく伝えられているか？ 日吉キャンパスに通っている間に（卒業研究に追われる＆ストレスを抱える前に）、これらのプロセスを経験してみませんか。

また、実際に自分で経験してみると、「科学的な根拠」というものの理解が深まるかと思えます。世の中には、科学的な証拠が得られたように見えて正しくなかった場合もあれば、まだ科学的な証拠が得られていないけれど正しいかもしれないことがたくさんあります。世の中にあふれる情報に惑わされずに、「科学的な根拠」を求めつつもそれを絶対視することなく、また「科学的な根拠」がないからといって問題を軽視することなく、ものごとを論理的・批判的に考える能力を養ってもらいたいと思っています。

成績評価方法：

出席、意欲（授業中の態度と質疑応答への参加度）、成果（プレゼンテーションと報告書の質）で評価します。

テキスト（教科書）：

特にありません。

参考書：

特にありません。

担当教員から履修者へのコメント：

- 授業はすべて対面で実施します。
- ノートパソコンを毎回持ってきてください。
- 履修希望者が多い場合は初回の授業で選抜を行います。
- 積極的に授業に参加する意欲のある学生を歓迎します。

質問・相談：

随時受け付けます。

メールアドレスは kiyono.sekii@keio.jp

総合教育セミナーS（I類）2単位（春学期）

R 言語とゲーム理論

高橋 弘

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この科目では、データ分析に関する学習をセミナー形式で進めます。教科書の指定された箇所を予習し、授業では理解した内容を皆さんの前で発表してもらいます。統計分析ソフトウェア R を用いることなど、複数の理由から、前半の講義ではこちらが提示する課題をといてもらい、という形式で進める予定です。

セミナーの準備・課題の取り組みは、かなりの時間がとられることになるかと思いますが、新しいことを始めることは楽しいことでもあるかと思っています。どうか積極的に取り組んでください。前半は、R の使い方や数理統計学を勉強し、後半はゲーム理論に関する教科書を読み進めます。

成績評価方法：

課題の提出状況などに基づいて総合的に評定します。

テキスト（教科書）：

初回の授業で紹介します。

参考書：

『統計ソフト「R」超入門 実例で学ぶ初めてのデータ解析』

逸見功著 講談社ブルーバックス 2018年 ISBN: 978-4-06-502049-4

担当教員から履修者へのコメント：

履修希望者が定数を上回った場合、抽選で履修許可者を決定します。

不明な点は放置せず、解決する努力をして下さい。質問には適宜応じます。

当セミナーは、商学部数理科学プログラム認定科目のひとつになっています。

質問・相談：

メールなどで適宜受け付けます。

総合教育セミナーS（I類）2単位（秋学期）

統計学と数学

高橋 弘

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この科目では、統計学に関する学習をセミナー形式で進めます。教科書の指定された箇所を予習し、授業では理解した内容を皆さんの前で発表してもらいます。前半の講義ではこちらが提示する課題を解いてもらい、後半は皆さんに講義をしてもらいます。

セミナーの準備・課題の取り組みは、かなりの時間がとられることになるかと思いますが、新しいことを始めることは楽しいことでもあるかと思っています。どうか積極的に取り組んでください。

成績評価方法：

課題の提出状況などに基づいて総合的に評定します。

テキスト（教科書）：

初回の授業で紹介します。

参考書：

『大学1・2年生のためのすぐわかる統計学』

藤田 岳彦・吉田 直広(著) ISBN: 978-4489023439

担当教員から履修者へのコメント：

履修希望者が定数を上回った場合、抽選で履修許可者を決定します。

不明な点は放置せず、解決する努力をして下さい。質問には適宜応じます。

当セミナーは、商学部数理科学プログラム認定科目のひとつになっています。

質問・相談：

メールなどで適宜受け付けます。

総合教育セミナーS（I類）2単位（春学期）

複雑な計算をしない数学

藤沢 潤

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、「複雑な計算をしない数学」に関する文章（英語）を自分の力で読み、その内容を発表する・関連する問題について考える・レポートにまとめるというを行います。それによって、自分が理解した数学的内容を論理的に正しく口頭や文章で他者に説明できるようになることがこの授業の目標です。この授業では複雑な計算があまり現れない反面、一見当たり前に思える内容でもきちんと噛み砕いて他者に説明しなければならず、論理的な思考力・表現力が重要となります。

成績評価方法：

プレゼンテーションの内容、レポートの内容、平常点で評価します。

テキスト（教科書）：

授業中に紹介します。

参考書：

必要に応じて紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面実施を基本としますが、必要に応じてオンライン（オンデマンド形式）による授業を行う可能性もあります。なお初回授業は対面です。初回（第1週目）の授業に必ず出席して下さい。

この授業は、数学が好きな学生を対象としています。セミナー形式の授業なので、無断欠席は厳禁です。また、テキストの内容を理解した上で他の履修者に向けて発表しなければいけないので、授業時間外の準備が欠かせません。

※この授業は商学部数理科学プログラム認定科目のひとつとなっています。

質問・相談：

授業中・授業後の他に、アポイントを取ってもらえればいつでも受け付けます。

総合教育セミナーS（I類）2単位（秋学期）

複雑な計算をしない数学

藤沢 潤

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、「複雑な計算をしない数学」に関する文章（英語）を自分の力で読み、その内容を発表する・関連する問題について考える・レポートにまとめるというを行います。それによって、自分が理解した数学的内容を論理的に正しく口頭や文章で他者に説明できるようになることがこの授業の目標です。この授業では複雑な計算があまり現れない反面、一見当たり前に思える内容でもきちんと噛み砕いて他者に説明しなければならず、論理的な思考力・表現力が重要となります。

成績評価方法：

プレゼンテーションの内容、レポートの内容、平常点で評価します。

テキスト（教科書）：

授業中に紹介します。

参考書：

必要に応じて紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面実施を基本としますが、必要に応じてオンライン（オンデマンド形式）による授業を行う可能性もあります。なお初回授業は対面です。初回（第1週目）の授業に必ず出席して下さい。

この授業は、数学が好きな学生を対象としています。セミナー形式の授業なので、無断欠席は厳禁です。また、テキストの内容を理解した上で他の履修者に向けて発表しなければいけないので、授業時間外の準備が欠かせません。

※この授業は商学部数理科学プログラム認定科目のひとつとなっています。

質問・相談：

授業中・授業後の他に、アポイントを取ってもらえればいつでも受け付けます。

総合教育セミナー S（I 類）2 単位（春学期）

生活の中の確率

安田 公美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーでは、私たちの社会活動や自然現象の中に現れる確率的現象にまつわる問題を、自分たちの力で解いていきます。ゲーム、席替え、ギャンブルなど、身近に起こり得る問題を題材にしながら、その中の数学的法則を見つけてみましょう。

毎週、パズルのような問題を扱いながら、少しずつ複雑な課題にもチャレンジできるよう進んでいきます。一つの課題に対して様々なアプローチがあり、高度な計算が必要と思われる問題が発想を変えるとたちまち簡単に解けてしまう、そんなミラクルも体験しましょう。また、問題からは想像もしなかった数や手法と結びつく不思議も味わうことができます。

数人のグループごとにディスカッションを行い、全員でアイデアを出しながら解決を目指します。そして、問題ごとに担当グループが次週に解法をプレゼンテーションします。板書だけでなく、書画カメラや PC からの投影も駆使して、簡潔で効果的なプレゼンテーションを行うスキルも身につけていきましょう。

成績評価方法：

グループによるディスカッションとプレゼンテーション、およびレポートで評価する。

テキスト（教科書）：

特に指定しない。

参考書：

必要に応じて紹介する。

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面実施を基本としますが、必要に応じてオンライン（オンデマンド形式）による授業を行う可能性もあります。なお初回授業は対面です。

履修希望者が定数を上回った場合、抽選で履修許可者を決定します。

自分の割り当てられた役割に対して最後まで責任を持ち、グループで協力して取り組む姿勢を期待します。不明な点は放置せず、授業中等に質問して解決する努力をして下さい。

当セミナーは、商学部数理科学プログラム認定科目のひとつになっています。

質問・相談：

授業中に受け付ける。

総合教育セミナー S（I 類）2 単位（秋学期）

生活の中の確率

安田 公美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーでは、私たちの社会活動や自然現象の中に現れる確率的現象にまつわる問題を、自分たちの力で解いていきます。ゲーム、席替え、ギャンブルなど、身近に起こり得る問題を題材にしながら、その中の数学的法則を見つけてみましょう。

毎週、パズルのような問題を扱いながら、少しずつ複雑な課題にもチャレンジできるよう進んでいきます。一つの課題に対して様々なアプローチがあり、高度な計算が必要と思われる問題が発想を変えるとたちまち簡単に解けてしまう、そんなミラクルも体験しましょう。また、問題からは想像もしなかった数や手法と結びつく不思議も味わうことができます。

数人のグループごとにディスカッションを行い、全員でアイデアを出しながら解決を目指します。そして、問題ごとに担当グループが次週に解法をプレゼンテーションします。板書だけでなく、書画カメラや PC からの投影も駆使して、簡潔で効果的なプレゼンテーションを行うスキルも身につけていきましょう。

成績評価方法：

グループによるディスカッションとプレゼンテーション、およびレポートで評価する。

テキスト（教科書）：

特に指定しない。

参考書：

必要に応じて紹介する。

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面実施を基本としますが、必要に応じてオンライン（オンデマンド形式）による授業を行う可能性もあります。なお初回授業は対面です。

履修希望者が定数を上回った場合、抽選で履修許可者を決定します。

自分の割り当てられた役割に対して最後まで責任を持ち、グループで協力して取り組む姿勢を期待します。不明な点は放置せず、授業中等に質問して解決する努力をして下さい。

当セミナーは、商学部数理科学プログラム認定科目のひとつになっています。

質問・相談：

授業中に受け付ける。

総合教育セミナー S（Ⅱ類） 2 単位（春学期）

現代中国文学作品講読の試み

櫻庭 ゆみ子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

現在進行形で社会が大きく変化する今日、文学作品を大学で読むことの意味はなにか、この問いを念頭に置きつつ、中国現代文学が成熟する20世紀中葉から今日までの、現代中国語で書かれた小説、エッセイの中から幾つかを選び、抄訳を取り入れながら読んでいきます。

中国語によって表現される世界の感触を味わい、そこで読み取れる世界観と各自がそれぞれ持つ異文化世界のイメージとの差を認識し、それに対する考察を行います。日本語とは漢字を共有しながらも、似て非なる言語構造を持つ中国語の言語芸術作品の特徴や魅力を知るために、一度は原文の逐語訳を通じて丁寧に分析的に読む訓練が必要です。そこで、辞書を使いながら作品を部分的に翻訳（中国語から日本語へ）してもらいます。この抄訳の長さは参加メンバーによって調整します。

セミナーは対面で行います。事前に作品を読み、上述したように抄訳をしてきてもらいます。セミナーでは、作品の背景の検討、必要に応じてテキスト分析等を行い、また抄訳の比較検討、討論等も行います。

成績評価方法：

課題（抄訳）提出情況、授業参加状況、最終レポートで総合的に判断する。

参考書：

必要に応じて紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

セミナーでは中国語の原文を日本語に翻訳する作業を行います。ですので以下の条件を満たしていることが必要です。

- ・中国語を一年以上履修していること、或いはそれと同程度の中国語の読解能力があること。
- ・中国語が母語である場合は、中級以上の日本語の筆記能力。
- ・言葉・文学・歴史に興味があること。

尚、資料や課題は Canvas を通じて配布します。その他課題提出方法等は初回の授業で説明します。参加を考えている方は初回に必ず参加して下さい。

質問・相談：

以下メールにて随時受け付けます。問題がある場合はなるべく早く連絡してください。

e-mail : sakuraba@keio.jp

総合教育セミナー S（Ⅱ類） 2 単位（秋学期）

現代中国文学作品講読の試み

櫻庭 ゆみ子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

内容：現在進行形で社会が大きく変化する今日、文学作品を大学で読むことの意味はなにか、セミナーでは、この問いを念頭に置きつつ、中国現代文学が成熟する20世紀初頭から今日までの、現代中国語で書かれた小説、エッセイ（主に邦訳のあるもの）の中から幾つかを選び、原文からの抄訳を取り入れながら読んでいきます。

目的：中国語によって表現される世界の感触を味わってみること、そこで読み取れる世界観と各自がそれぞれ持つ異文化世界のイメージとの差異を検討してみることに。日本語とは漢字を共有しながらも、似て非なる言語構造を持つ中国語の言語芸術作品の特徴や魅力を知るために、一度は原文の逐語訳を通じて丁寧に分析的に読む訓練が必要です。セミナーでは中国語から日本語への抄訳を行います。抄訳の長さは参加メンバーによって調整します。

方法：授業は対面で行います。進め方としては、まずこちらで取り上げる作品の背景を概説し、その後抄訳などの課題を課します。その次の授業で作品について皆で議論、提出された課題への意見、訳の検討などを行います。

成績評価方法：

課題（抄訳）提出情況、授業参加状況、最終レポートで総合的に判断する。

参考書：

必要に応じて紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

セミナーでは中国語の原文を日本語に翻訳する作業を行います。ですので以下の条件を満たしていることが必要です。

- ・中国語を一年以上履修していること、或いはそれと同程度の中国語の読解能力があること。
- ・中国語が母語である場合は、中級以上の日本語の筆記能力。
- ・言葉・文学に興味があること。

尚、資料や課題は Canvas を通じて配布します。その他課題提出方法等は初回の授業で説明します。参加を考えている方は初回に必ず参加して下さい。

質問・相談：

以下メールにて随時受け付けます。問題がある場合はなるべく早く連絡してください。

e-mail : sakuraba@keio.jp

総合教育セミナーS（Ⅱ類）2単位（春学期）

スペインのグラフィック・ノベルを読む（1）

瀧本 佳容子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

グラフィック・ノベルは米合衆国で生まれたものですが、他の国々に広がってさまざまなテーマやレベルのものが書かれるようになり、近年はスペイン語でも多くのグラフィック・ノベルが書かれています。「グラフィック」なので内容に即したイラストが描かれています。内容は「ノベル」というに相応しいフィクションから、歴史的テーマなどのノンフィクション、またエッセイも多く書かれています。

本授業では、マリア・ガジャルドとミゲル・ガジャルドによる『マリアと私』（*María y yo*, 2007）をスペイン語原文で読みます。漫画家ミゲル・ガジャルドが、自閉スペクトラム症を持つ娘マリアとグラン・カナリア島で過ごした休暇の様子をイラストと文章で綴った作品で、スペイン漫画大賞の候補作になりました。ミゲル・ガジャルドがマリアの言動を描写し、マリアが何を感じ考えているのかについて繊細な解釈をしています。原文を読むのでスペイン語既習であることが自ずから条件となりますが、商学部スペイン語普通コースの1年生を終えたレベルで対応できるよう留意しつつ授業を進めます。各回の授業では講読を終えた部分について履修者間でディスカッションを行います。学期末には、読解した内容を自分なりにまとめ、必要に応じて参考文献を参照した上で私見を述べたレポートを書いてください。

成績評価方法：

授業への参画度とレポートを基準として総合的に判断します。少人数セミナーなのでやむを得ない場合を除き欠席は認めません。

テキスト（教科書）：

Gallardo, María y Gallardo, Luis, *María y yo*, Astiberri, 2017（初版 2007）.

ISBN-13 : 978-8496815407

教科書購入については開講時に指示します。

参考書：

開講時に指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

『マリアと私』講読は、心理や感覚の表現方法が自分とは異なる他者と共にいる際、自分が何をどう感じ思うかを問う機会になるでしょう。また、私たちとは異なる文化に属する著者ミゲル・ガジャルドがマリアをどんな視点で見ているかを考察することで、私たちの価値観にも何らかの変化が起こるかもしれません。

質問・相談：

授業時または K-LMS 経由で受け付けます。

総合教育セミナーS（Ⅱ類）2単位（秋学期）

スペインのグラフィック・ノベルを読む（2）

瀧本 佳容子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

グラフィック・ノベルは米合衆国で生まれたものですが、他の国々に広がってさまざまなテーマやレベルのものが書かれるようになり、近年はスペイン語でも多くのグラフィック・ノベルが書かれています。「グラフィック」なので内容に即したイラストが描かれています。内容は「ノベル」というに相応しいフィクションから、歴史的テーマなどのノンフィクション、またエッセイも多く書かれています。

本授業では、マリア・ガジャルドとミゲル・ガジャルドによる『マリアは20歳になった』（*María cumple 20 años*, 2015）をスペイン語原文で読みます。漫画家ミゲル・ガジャルドが、自閉スペクトラム症を持つ娘マリアとグラン・カナリア島で過ごした休暇の様子をイラストと文章で綴った作品で、スペイン漫画大賞の候補作になりました。ミゲル・ガジャルドがマリアの言動を描写し、マリアが何を感じ考えているのかについて繊細な解釈をしています。原文を読むのでスペイン語既習であることが自ずから条件となりますが、商学部スペイン語普通コースの1年生を終えたレベルで対応できるよう留意しつつ授業を進めます。各回の授業では講読を終えた部分について履修者間でディスカッションを行います。学期末には、読解した内容を自分なりにまとめ、必要に応じて参考文献を参照した上で私見を述べたレポートを書いてください。

成績評価方法：

授業への参画度とレポートを基準として総合的に判断します。少人数セミナーなのでやむを得ない場合を除き欠席は認めません。

テキスト（教科書）：

Gallardo, María y Gallardo, Luis, *María cumple 20 años*, Astiberri, 2015.

ISBN-13 : 978-8415685937

教科書購入については開講時に指示します。

参考書：

開講時に指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

『マリアは20歳になった』講読は、心理や感覚の表現方法が自分とは異なる他者と共にいる際、自分が何をどう感じ思うかを問う機会になるでしょう。また、私たちとは異なる文化に属する著者ミゲル・ガジャルドがマリアをどんな視点で見ているかを考察することで、私たちの価値観にも何らかの変化が起こるかもしれません。

質問・相談：

授業時または K-LMS 経由で受け付けます。

総合教育セミナー S（Ⅲ類） 2 単位 ~~（秋学期）~~（春学期）

宝塚歌劇から考えるマネジメント

園田 智昭

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

宝塚歌劇を題材にして、組織および事業のマネジメントについて考える授業です。100年以上の歴史を持つ宝塚歌劇については、芸術面からの研究だけではなく、経営、マーケティング、社会学など、多方面から研究が行われています。この授業では、まずそれらの研究の概略を紹介し、履修者で少人数のグループを作りディスカッションを行った結果などを K-LMS のディスカッション機能を使って報告する形で進めます。

成績評価方法：

平常点（出席状況、ディスカッションへの参加、課題の書き込み等）による評価

テキスト（教科書）：

特に指定しません。

担当教員から履修者へのコメント：

この講義は、商学部の学生以外に、どの学部・大学院に所属していても履修可能です。履修者が多い場合は、1 回目の授業でアンケートを記入してもらい、その内容により履修許可者を決定します。履修者は16人を予定しています。

ゲストスピーカーの講演の回は変更される可能性があります。また、ゲストスピーカーの講演については、履修者による SNS への投稿や録音・撮影を禁止します。投稿や録音・撮影をした場合は、試験での不正行為と同様に扱います。逆にゲストスピーカーによる SNS への投稿等は認めています。

質問・相談：

講義の後に随時受け付けます。